

妙高市子ども・子育て支援に関する  
アンケート調査結果報告書  
(速報版)

令和5年12月  
新潟県妙高市

# 目 次

調査の概要	1
第1章 調査対象者の家族状況	2
問1 性別	2
問2 居住地域	2
問3 年齢	3
問4 子どもの人数	4
問5 同居家族	5
第2章 子育てを取り巻く環境について	7
問6 子育ての主体者	7
問7 子育ての協力者	9
問8 相談先の有無	11
問9 気軽な相談先	11
第3章 子育てへの想いについて	12
問10 子育てへの想い	12
問11 子どもがいる生活での良い点	13
問12 子育て情報の入手方法	14
問13 子育ての悩み	16
第4章 保護者の就労状況について	18
問14 父母の就労状況	18
問15 就労日数	22
第5章 保育園等の利用について	24
問16 日常的に利用している支援	24
問17 今後利用したい支援	27
問18 過去に利用した支援	30
問19 保育園等を利用しない場合の日中の過ごし方	33
第6章 子育て支援事業について	34
問20 子育て支援事業の利用について	34
問21 子どもが病気になった時の困りごと	39
問22 子どもが病気になった時の対応経験	40
問23 子どもが病気になった時の対応方法	41
問24 子どもの泊りがけでの対応経験	42
問25 子どもの泊りがけでの対応方法	42
問26 放課後の過ごし方	43
問27 放課後児童クラブの利用希望	44
問28 長期休業期間中の効果後児童クラブの利用希望	45
問29 1歳児家庭訪問について	47

第7章 職場の子育て支援、子育て環境などへの満足度について	48
問30 育児支援制度の有無	48
問31 育児休業制度の取得経験	49
問32 育児休業の取得希望	50
問33 短時間勤務の取得経験	51
問34 短時間勤務の取得希望	52
問35 支援制度を取得しない理由	53
問36 支援制度活用時の不安	57
問37 妙高市の子育て環境や支援策への満足度	58
問38 子育て環境や支援に対する意見等	61

# 調査の概要

## 1 調査の目的

平成27年4月から、新しい制度のもとに子どもを安心して産み育てられる環境を整備しようと、「子ども・子育て支援新制度」が始まりました。これは、平成24年に法整備された「子ども・子育て支援法」に基づくもので、全国の自治体が平成27年度から31年度の5年間を目標年度とする「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、それに則って子育て事業を実施しているところです。

このたび、妙高市第2次子ども・子育て支援計画が令和6年度をもって終了となることから、次期計画の策定に向けて、子育てに関する市民のニーズを把握し、これを計画に反映させるをことを目的としてアンケート調査を実施するものであります。

## 2 調査の内容

### (1) 調査時期

令和5年10月

### (2) 調査対象

妙高市に在住し、生まれてから小学校6年生までの子どもを養育している保護者

### (3) 調査方法

グーグルフォームによるアンケート調査

※各園、小学校を通じて保護者へ調査の協力依頼文を配布（未就園児については文書を保護者へ郵送）

### (4) 回答状況

配布数	1,730
回答数	644
回答率	37.2%

## 3 集計表、グラフの見方

- ・「n」の数値は、設問への回答者数を表す。
- ・回答の比率は、すべて少数点以下第2位を四捨五入した。したがって、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問については、すべての回答比率の合計が100%を超えることがある。

## 第1章 調査対象者の家族状況

【問1】 性別について、あてはまるものを選択してください。

- ・配布数は1,730で、回収数は644である。回収率は37.2%である。
- ・回答者は、男性が13.3%、女性が86.2%である。
- ・回答者の比率は、女性が男性の約6.5倍である。
- ・前回調査では、男性の回答率が26.1%、女性の回答率が73.3%であった。
- ・前回調査（調査票送付）から調査方法を変更したため、回答率に変化があった。

回答内容	回答数	回答率
男性	88	13.3%
女性	570	86.2%
その他	3	0.5%

n = 661

【問2】 お住まいについて、あてはまるものを選択してください。

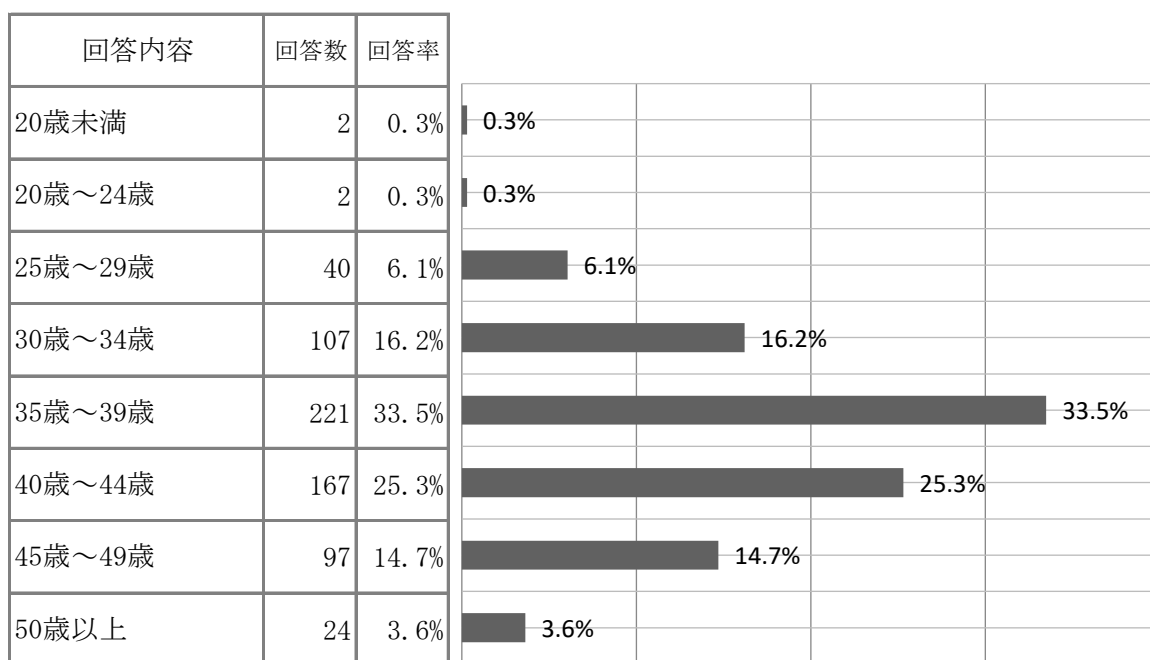
- ・配布数は、新井地域1,473、妙高高原地域131、妙高地域126である。
- ・回答数は、新井地域552、妙高高原地域44、妙高地域60である。
- ・全体回答数に対する回答割合は、新井地域84.1%、妙高高原地域6.7%、妙高地域9.1%である。
- ・前回調査では、新井地域81.6%、妙高高原地域8.9%、妙高地域8.8%であった。
- ・地域別配布数に対する回答割合は、新井地域37.5%、妙高高原地域33.6%、妙高地域47.6%である。
- ・前回調査では、新井地域69.6%、妙高高原地域58.9%、妙高地域66.9%であった。
- ・グーグルホームによる調査を行ったことから、前回調査から回答率が下がったと考えられる。

回答内容	回答数	回答率
新井地域	552	84.1%
妙高高原地域	44	6.7%
妙高地域	60	9.1%

n = 656

【問3】 年齢について。あてはまるものを選択してください。

- ・ 保護者の年齢は35歳～39歳が33.5%と最も多く、次いで40歳～44歳が25.3%である。
- ・ 20歳未満が0.3%、50歳以上が3.6%である。
- ・ 前回調査から、30歳～34歳の割合が約5ポイント減り、45歳～49歳の割合が約4ポイント増えている。



n= 660

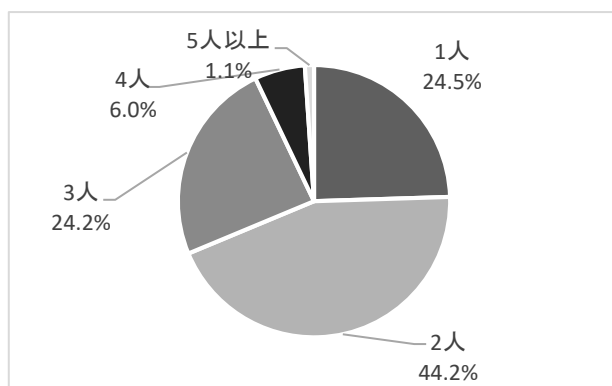
【問4】 お子さんについて、年代ごとにあてはまるものを選択してください。

[養育している子どもの人数]

- ・子どもの人数について、2人が44.2%と最も多い。
- ・次いで、1人が24.5%、3人が24.2%である。
- ・前回調査では、1人が27.5%、2人が45.3%で、1人が3.0ポイント、2人の1.1%ポイント減少した。
- ・回答数654人に対して、子どもの数の合計は1,395人であり、回答した家庭の子どもの平均人数は、約2.1人である。

回答内容	回答数	回答率
1人	159	24.5%
2人	287	44.2%
3人	157	24.2%
4人	39	6.0%
5人以上	7	1.1%

n= 649

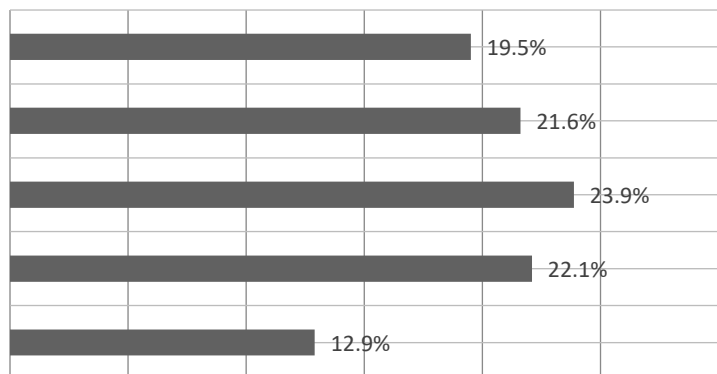


[それぞれの年代の子どものを養育している家庭の数]

- ・小学生（1年生～3年生）の子どものを養育している家庭が23.9%と最も多い。
- ・次いで、小学4年生～6年生が22.1%、3歳～3就学前が21.6%である。

回答内容	回答数	回答率
3歳未満	242	19.5%
3歳～就学前	268	21.6%
小学生（1年生～3年生）	296	23.9%
小学生（4年生～6年生）	274	22.1%
中学生以上	160	12.9%

n= 1,240

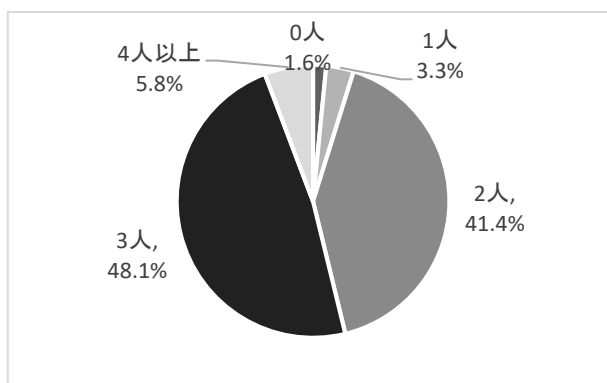


[理想の子どもの人数]

- ・3人が48.1%と最も多く、次いで2人が41.4%であった。
- ・回答した家庭の子どもの平均人数が約2.1人であったことに対して、理想の子どもの人数が3人と回答した方が約半数となった。

回答内容	回答数	回答率
0人	10	1.6%
1人	21	3.3%
2人	266	41.4%
3人	309	48.1%
4人以上	37	5.8%

n= 643

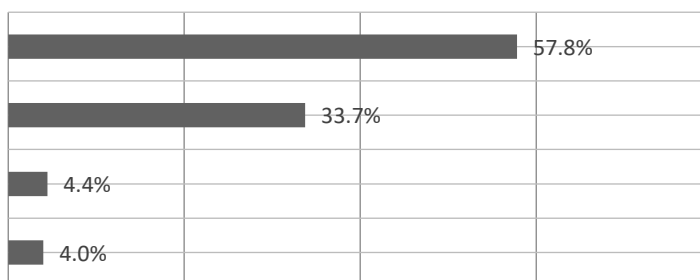


【問5】 同居の家族について、あてはまるものを選択してください。

- ・「配偶者と子ども」の世帯が57.8%で、前回調査から7.8ポイント増加した。
- ・「子どもだけ」のひとり親世帯が4.4%で、0.3ポイント増加した。
- ・上記2つの、いわゆる核家族世帯は62.2%で、8.1ポイント増加した。
- ・また、親（祖父母）との同居家族は、33.7%で、5.7ポイント減少しており、核家族化が進んでいると推測される。

回答内容	回答数	回答率
配偶者・子ども	377	57.8%
配偶者・子ども・配偶者等の親	220	33.7%
子ども	29	4.4%
その他	26	4.0%

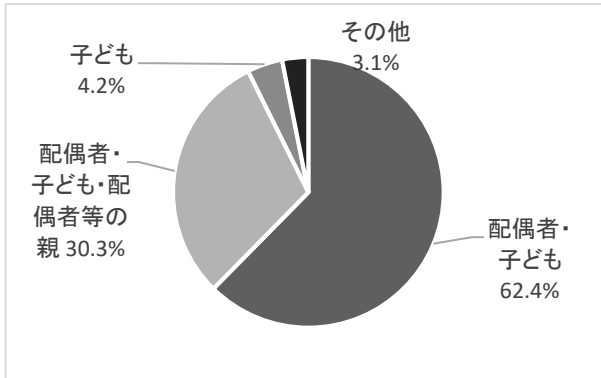
n= 652





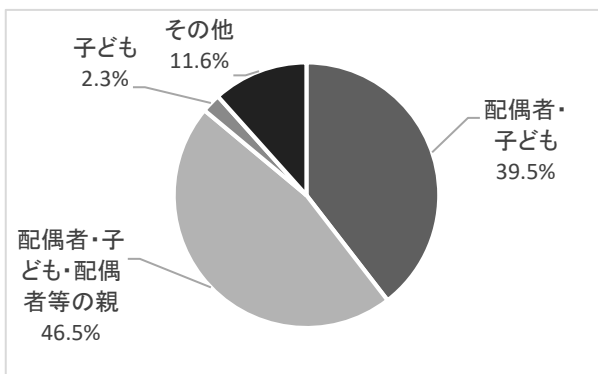
[新井地域]

- ・「配偶者と子ども」の世帯が62.4%と、全体よりも高い割合である。
- ・「子どもだけ」のひとり親世帯が4.2%と、全体とほぼ同じ割合である。
- ・上記2つの、いわゆる核家族世帯の割合が66.6%と、全体よりも4.4ポイント高い。



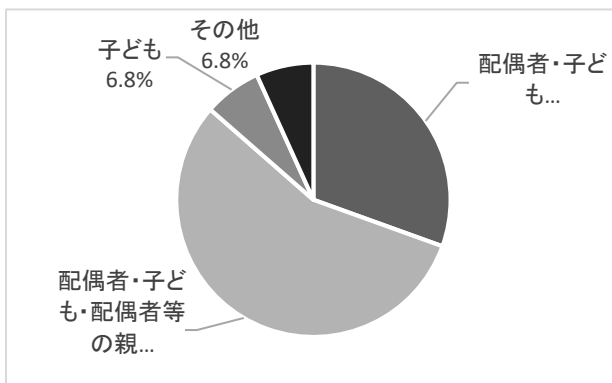
[妙高高原地域]

- ・親（祖父母）との同居家族は、46.5%と半数近くを占めている。
- ・いわゆる核家族世帯の割合が41.8%と、全体よりも20.4ポイント低い。



[妙高地域]

- ・親（祖父母）との同居家族は、55.9%と地区別では最も高い割合である。
- ・いわゆる核家族世帯の割合が37.3%と、全体よりも24.9ポイント低い。



## 第2章 子育てを取り巻く環境について

【問6】 子育てを主におこなっている方について、あてはまるものを選択してください。

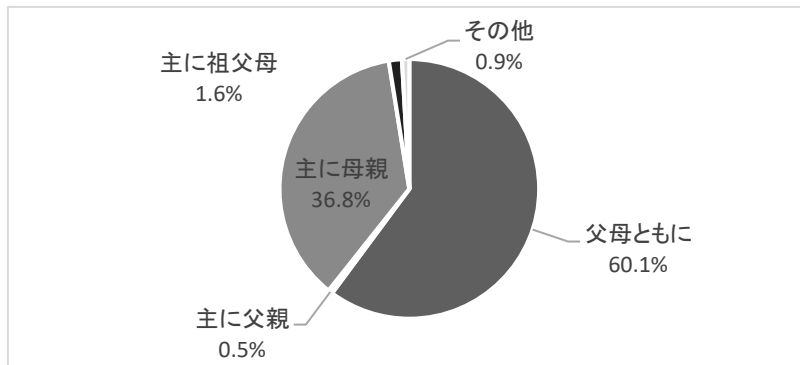
- ・「父母ともに」は、59.0%で、前回調査から8.2ポイント増加した。
- ・「主に母親」は37.4%で6.9ポイント減少、「主に祖父母」は1.8%で0.8ポイント減少した。
- ・このことから、父母で協力しあつての育児が進んだと推測される。

回答内容	回答数	回答率
父母ともに	390	59.0%
主に父親	3	0.5%
主に母親	247	37.4%
主に祖父母	12	1.8%
その他	9	1.4%

n= 661

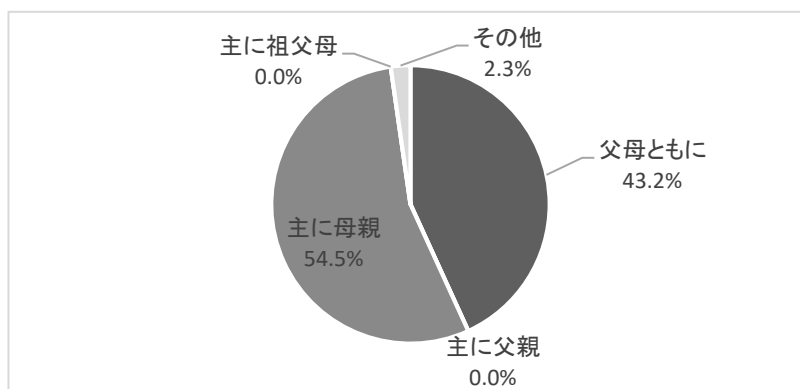
[新井地域]

- ・「父母ともに」が60.1%で、全体とほぼ同じ割合である。
- ・問5によって分かる、核家族の割合が高いことが要因と思われる。



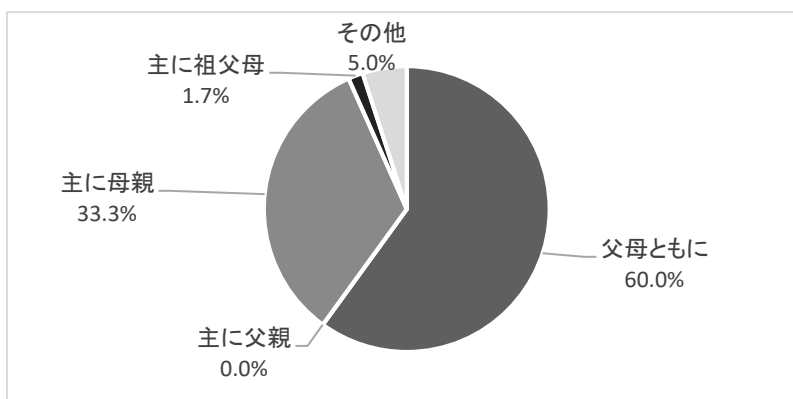
[妙高高原地域]

- ・「父母ともに」が43.2%というように、全体よりも下回っている。
- ・「主に母親」が54.5%で、全体よりも17.1ポイント高い。



[妙高地域]

- ・「父母ともに」が60.0%で、全体とほぼ同じ割合である。



【問7】 日頃、お子さんを見てもらえる親族や知人について、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

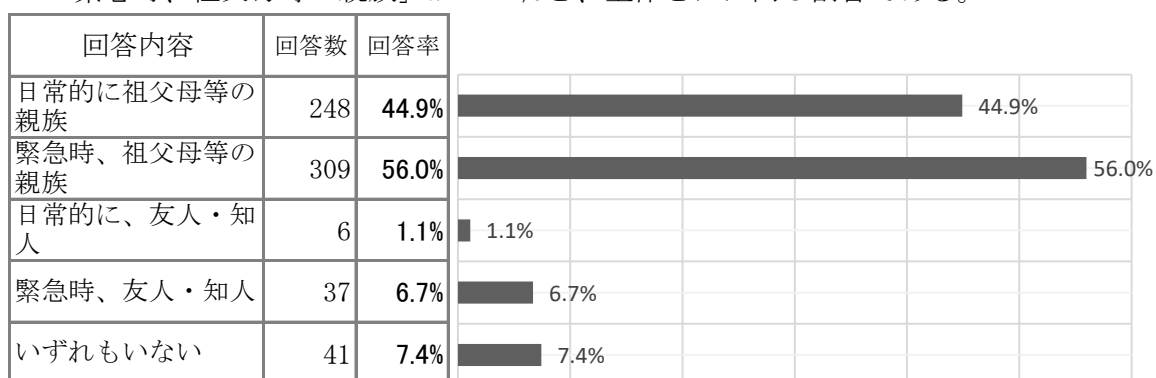
- ・「日常的に祖父母の協力を得られる家庭」が45.8%である。前回調査では50.6%で4.8ポイント減少した。
- ・「緊急時に祖父母の協力を得られる家庭」が54.2%である。前回調査では48.2%で6.0ポイント増加した。
- ・「いずれもない」が8.3%である。前回調査では5.8%で、2.5ポイント増加した。

回答内容	回答数	回答率
日常的に祖父母等の親族	303	45.8%
緊急時、祖父母等の親族	358	54.2%
日常的に、友人・知人	8	1.2%
緊急時、友人・知人	44	6.7%
いずれもない	55	8.3%

n= 661

[新井地域]

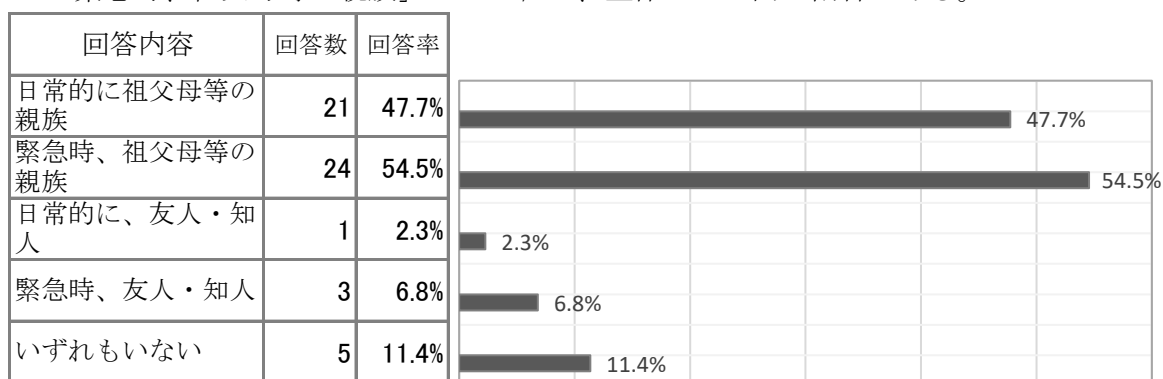
- ・「日常的に祖父母等の親族」が44.9%と、全体とほぼ同じ割合である。
- ・「緊急時、祖父母等の親族」が56.0%と、全体とほぼ同じ割合である。



n = 552

[妙高高原地域]

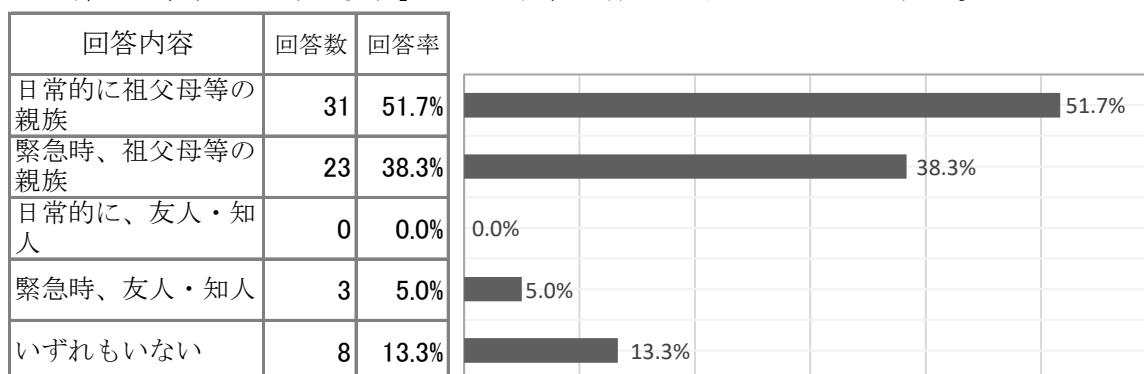
- ・「日常的に祖父母等の親族」が47.7%と、全体より若干高い。
- ・「緊急時、祖父母等の親族」が54.5%と、全体とほぼ同じ割合である。



n = 44

[妙高地域]

- ・「日常的に祖父母等の親族」が51.7%で、全体よりも5.9ポイント高い。祖父母等との同居の割合が高いことが要因と思われる。
- ・「緊急時、祖父母等の親族」が38.8%、全体よりも15.4ポイント低い。



n = 60

【問8】 子育てをするうえで気軽に相談できる人（場所）がい（ある）かについて、あてはまるものを選択してください。

- ・「十分いる」「ある程度いる」の合計が89.9%で、前回調査と同じ割合である。
- ・「あまりいない」「全くいない」の合計が10.1%で、前回から2.2ポイント増加した。

回答内容	回答数	回答率
十分いる（ある）	246	37.3%
ある程度いる（ある）	347	52.6%
あまりいない（ない）	59	8.9%
全くいない（ない）	8	1.2%

n= 660

【問9】 問8で「十分いる（ある）」「ある程度いる（ある）」を選択した方に伺います。気軽に相談できる人（場所）について、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

- ・「配偶者等」が79.5%、「祖父母兄弟等親族」が81.7%、「友人・知人」が65.9%と高い。
- ・前回調査では、「配偶者等」が72.4%で7.1ポイント増加、「祖父母兄弟等親族」が68.8%で12.9ポイント増加した。
- ・「子育て支援団体」や「子育てサークル」など、対象年齢や利用者が限定されているものでも同じ分母としているため、低い割合になっている。

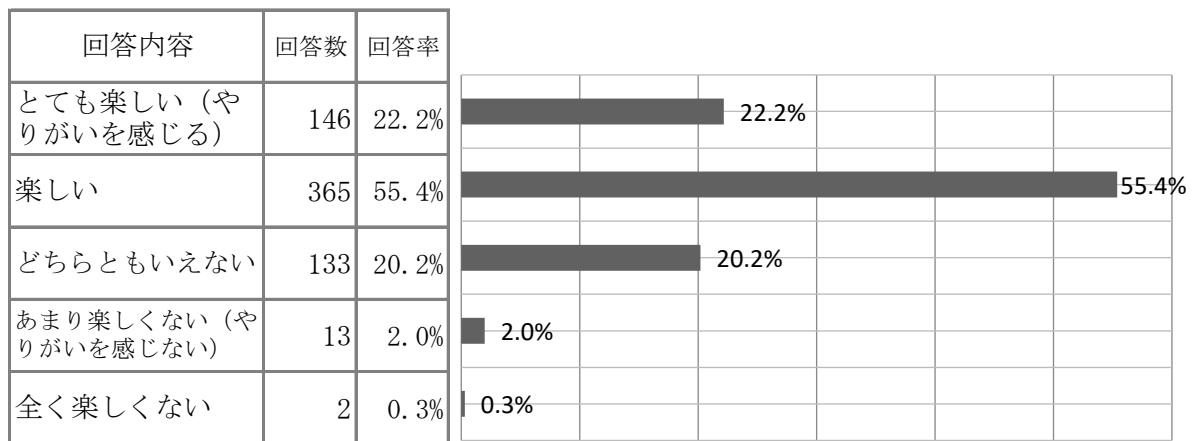
回答内容	回答数	回答率
配偶者・パートナー	466	79.5%
祖父母や兄妹等の親族	479	81.7%
友人や知人	386	65.9%
勤め先の人	229	39.1%
保育園・こども園や学校の先生	170	29.0%
かかりつけの医師や看護師	41	7.0%
市の相談窓口	14	2.4%
子育て支援施設（子育て広場等）	25	4.3%
子育て支援団体（NPO等）	8	1.4%
地域の子育てサークル	3	0.5%
その他	0	0.0%

n= 586

### 第3章 子育てへの想いについて

【問10】 日頃の子育ての感想について、あてはまるものを選択してください。

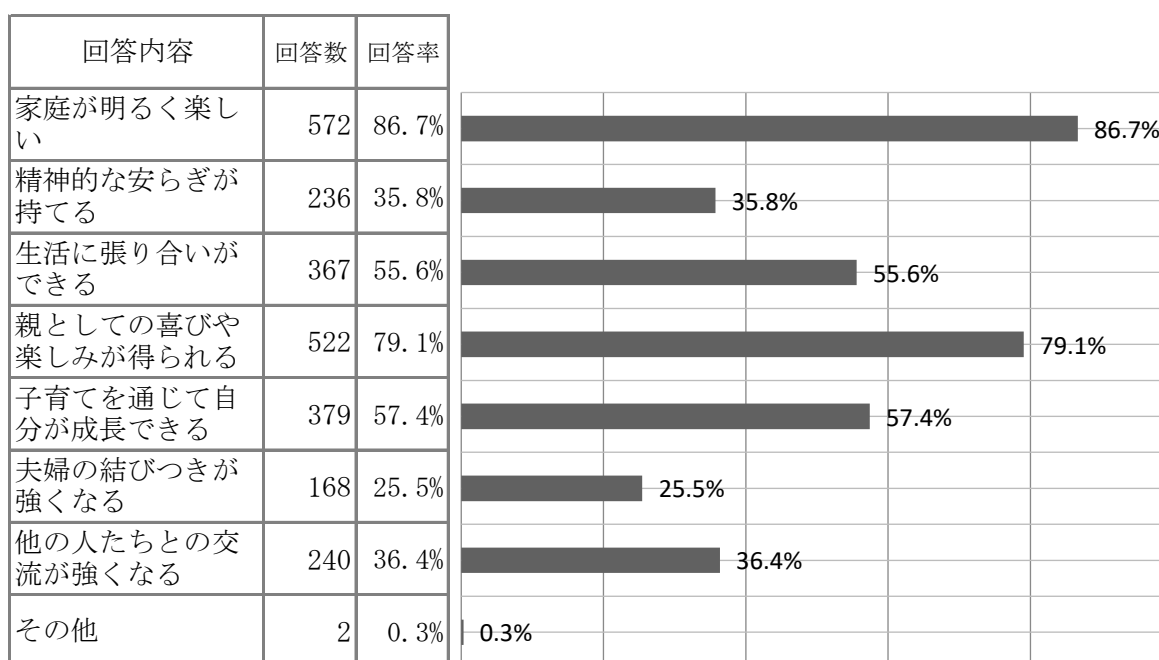
- ・「とても楽しい」が22.2%、「楽しい」が55.4%、合わせて77.6%の人が楽しく子育てをしている。前回調査では、合わせて74.0%だったので、3.6ポイント増加した。
- ・「あまり楽しくない」が2.0%、「全く楽しくない」が0.3%、合わせて2.3%の人が楽しくないと答えている。前回調査では、合わせて1.7%だったので、やや増加した。
- ・「どちらともいえない」が20.2%で、前回調査では23.3%だったので、3.1ポイント減少した。
- ・子育てにやりがいを感じるなどして「楽しい」を思う人が増える一方で、少数であるが、やりがいを感じることができずに「楽しくない」を思う人もいることが分かる。



n= 659

【問11】 お子さんがある生活で良いと思うことについて、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

- ・「家庭が明るく楽しい」が86.7%である。
- ・次いで、「親としての喜びや楽しみが得られる」が79.1%である。
- ・「生活に張り合いができる」、と「子育てを通じて自分が成長できる」が50%を超えている。
- ・その一方で、「夫婦の結びつきが強くなる」が25.5%と最も低い。
- ・それぞれの回答率は、前回調査とほぼ同じ割合である。

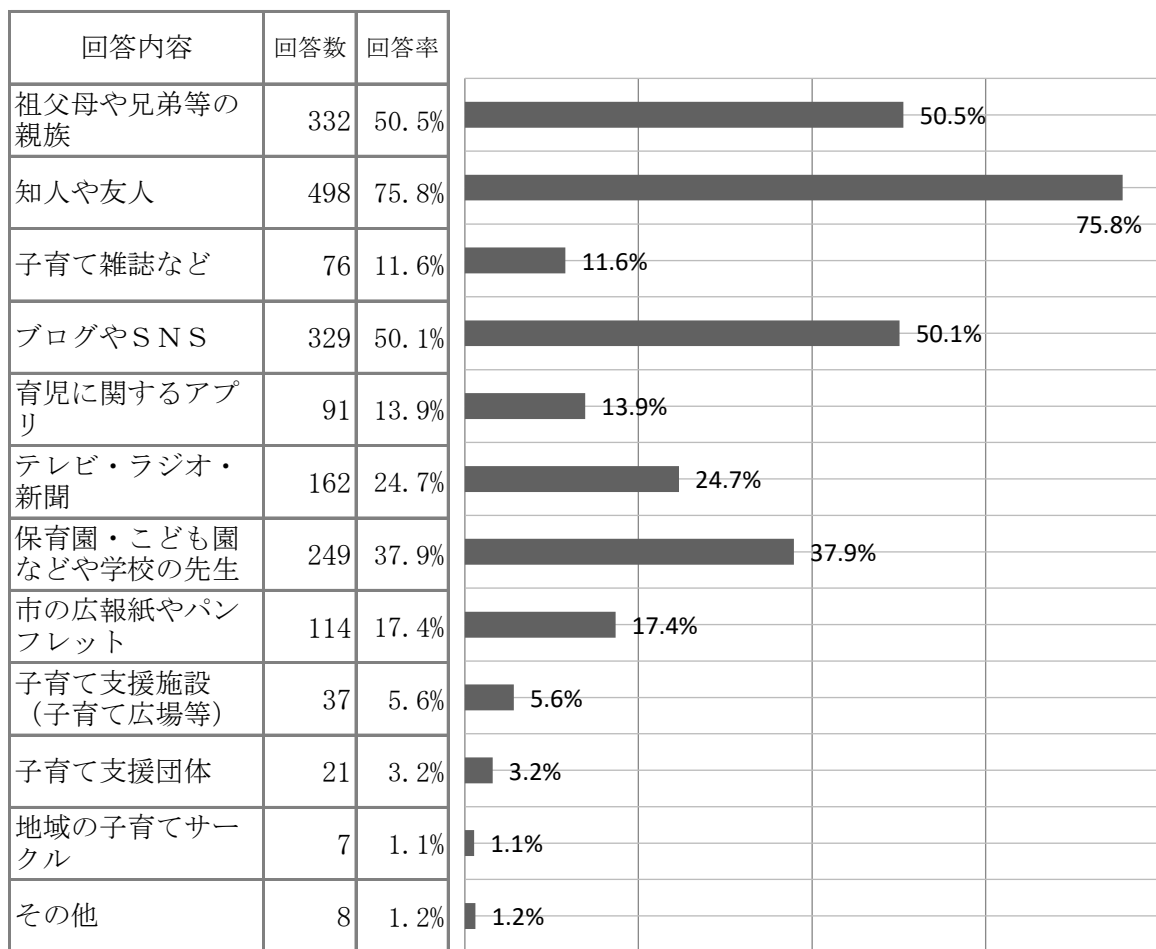


n= 660



【問12】 子育てに関する情報をどのように入手しているかについて、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

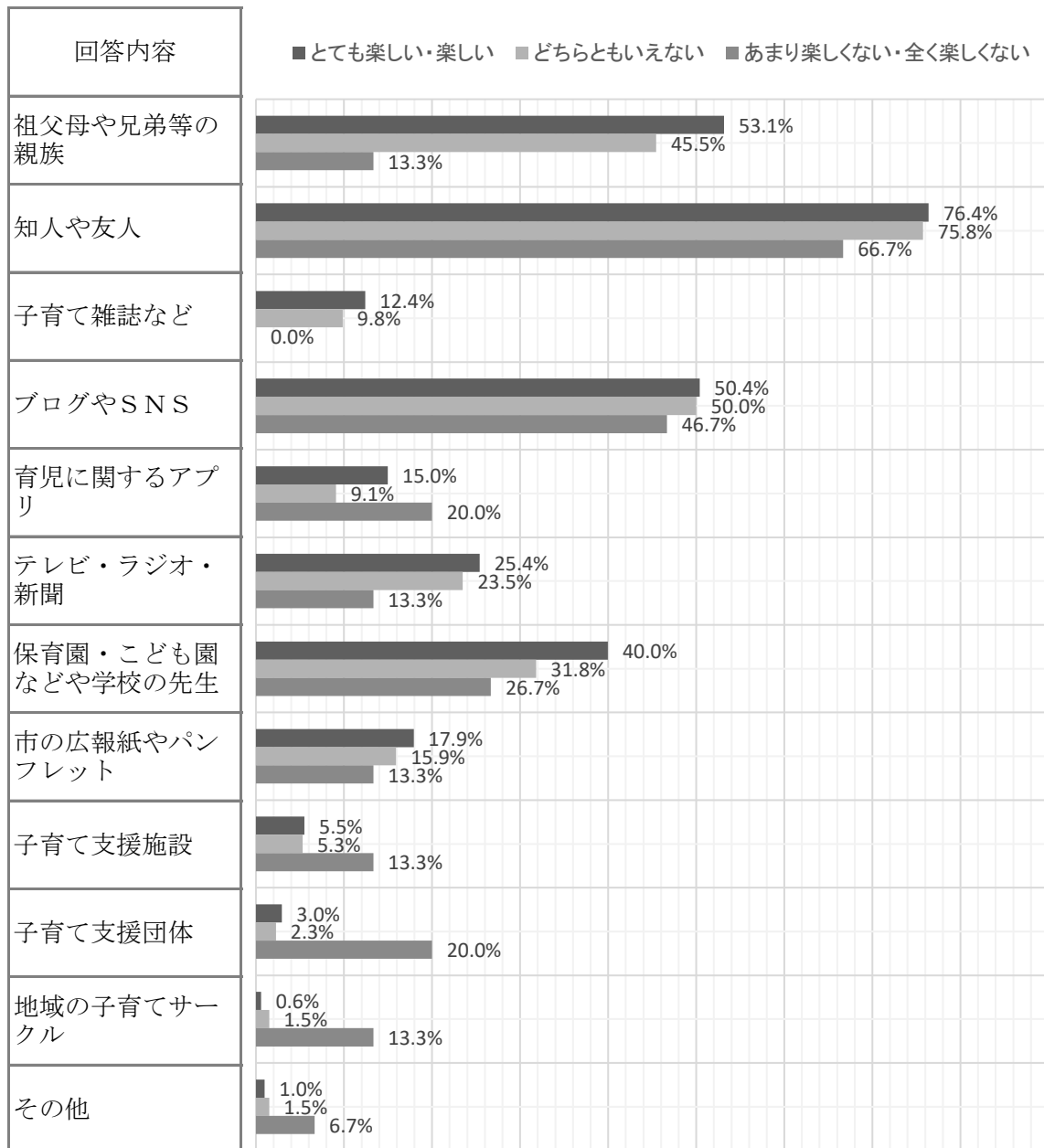
- ・「知人や友人」が75.8%、「親や兄弟などの親族」が50.5%と、身近な人から情報を入力していることがわかる。
- ・このほか、「ブログやSNS」が50.1%、「育児に関するアプリ」が13.9%と、新たな媒体からの入手が増えている。
- ・一方で「テレビ・ラジオ・新聞」が24.7%で、前回調査から6.1ポイント減少しているなど、情報入手の方法に関して時代の変化がうかがえる。



n= 657

[子育てへの想いと情報入手方法の関係]

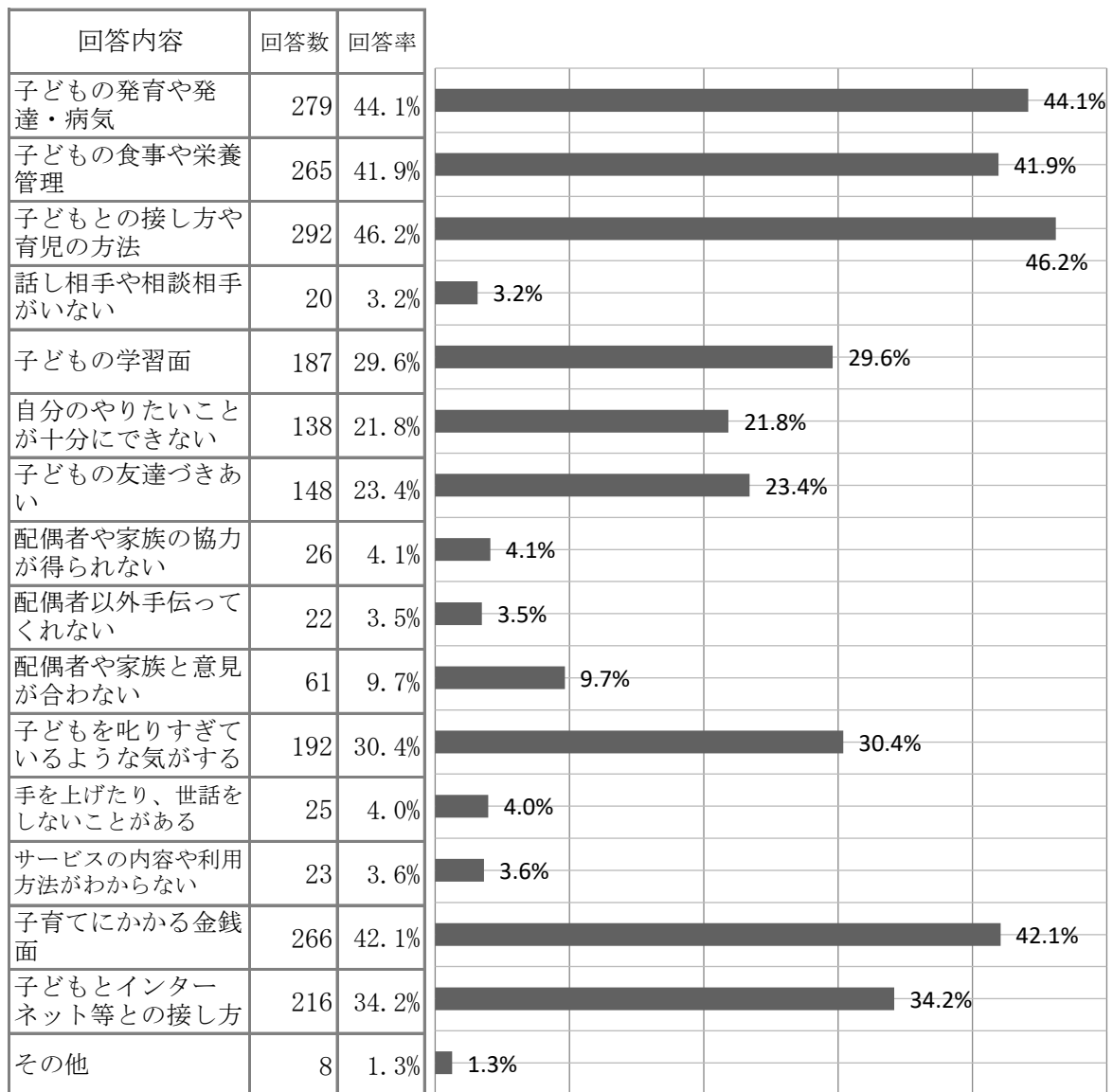
- ・子育てを「とても楽しい・楽しい」と感じている人は、他の人と比べると、「親族」から情報を入手する傾向が高くなっている。
- ・子育てを「あまり楽しくない・全く楽しくない」と感じている人は、母数が少ないので正確ではない可能性もあるが、他の人と比べると「子育て支援施設・支援団体・サークル」といった親族以外から情報を入手する傾向が高くなっている。



とても楽しい・楽しい n = 508  
 どちらともいえない n = 132  
 あまり楽しくない・全く楽しくない n = 15

【問13】 子育てで日頃から悩んでいることや気になることについて、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

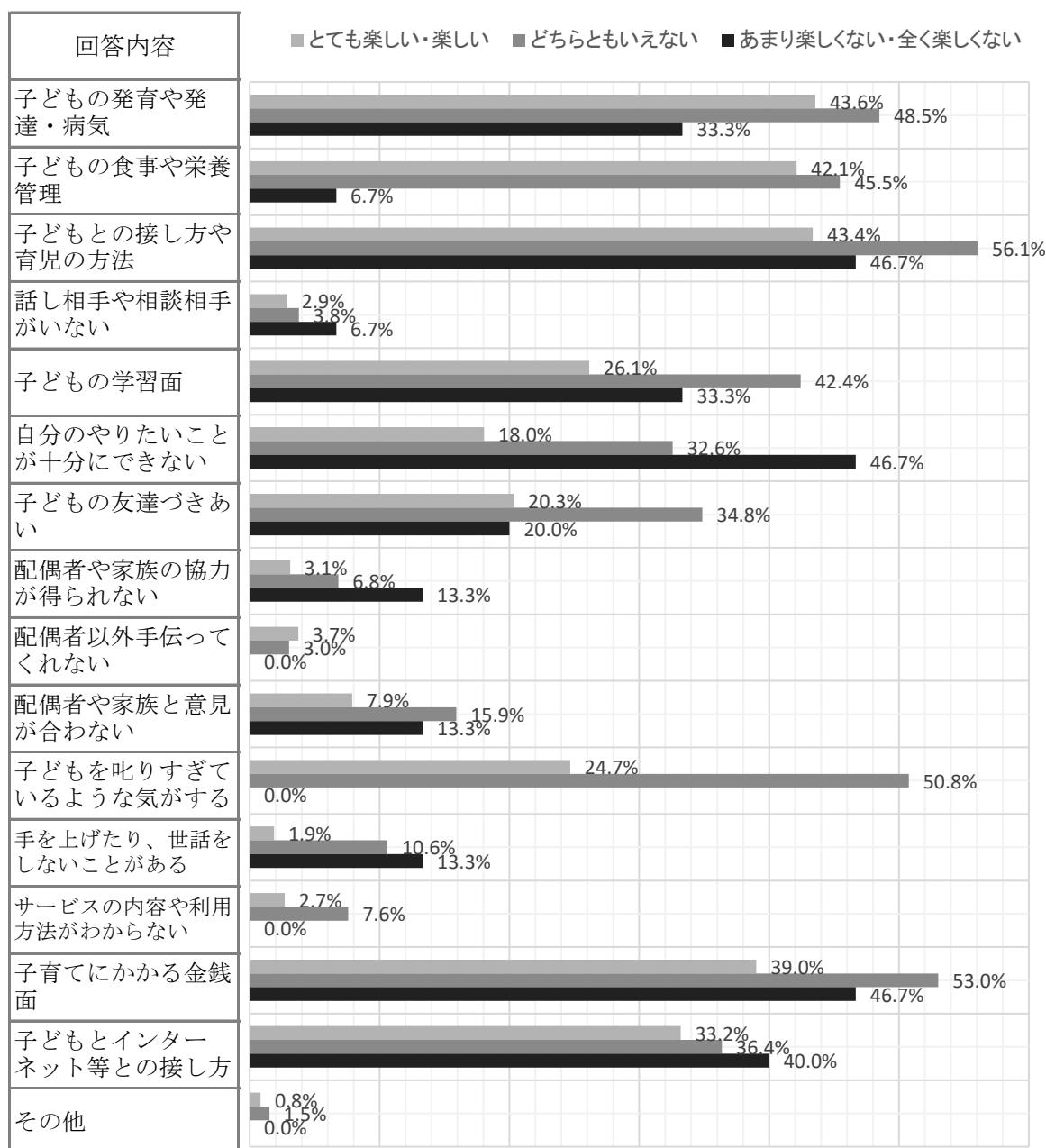
- ・「子どもとの接し方や育児の方法」が46.2%と最も高い。
- ・次いで、「子どもの発育や発達・病気」が44.1%、「子どもの食事や栄養管理」が41.9%となっており、比較的小さい子どもの育児に対する不安が高い。
- ・また、「子育てにかかる金銭面」が42.1%で、前回調査から9.9ポイント増加し、「子どもとインターネット等との接し方」が34.2%で、前回から15.0ポイント増加しており、近年の社会情勢の変化などが影響していると考えられる。



n= 632

[子育てへの想いと日ごろの悩み事との関係]

- ・子育てを「とても楽しい・楽しい」と感じている人は、他の人と比べると、全体的に悩みは少ないと考えられる。
- ・子育てを「あまり楽しくない・全く楽しくない」と感じている人は、他の人と比べると、「自分のやりたいことが十分にできない」や「配偶者や家族の協力が得られない」、「手を上げたり、世話をしないことがある」で悩んでいる人の割合が高くなっている。



とても楽しい・楽しい n = 482  
 どちらともいえない n = 132  
 あまり楽しくない・全く楽しくない n = 15

## 第4章 保護者の就労状況について

【問14】 お子さんの父親・母親それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

### (1) -1 父親の就労状況について

- ・就労している人（育児・介護休暇中を含む）が98.7%である。
- ・うち、「フルタイム」の人は85.3%、「交代勤務」の人は10.5%である。
- ・前回調査では、「フルタイム」が90.3%だったので、5.0ポイント減少した。

回答内容	回答数	回答率
フルタイム	524	84.7%
フルタイムだが、 育休・介護休暇中	4	0.6%
パート・アルバイト等	8	1.3%
パート等だが、育 休・介護休暇中	0	0.0%
交代勤務	65	10.5%
単身赴任中	10	1.6%
現在、就労してい ない	8	1.3%

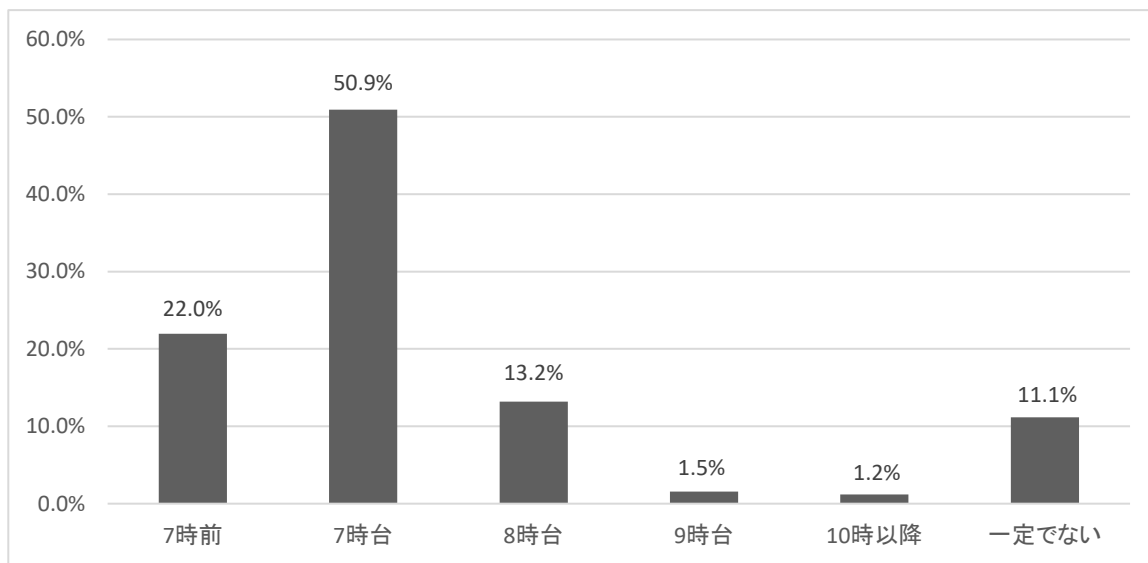
n= 619

## (1) - 2 家を出る時刻と帰宅する時刻について

- ・家を出る時間は、7時台が50.9%、次いで7時前が22.0%、8時台が13.2%である。
- ・帰宅時間は、18～19時台が50.1%、次いで20～21時台が16.6%、16～17時台が14.6%である。

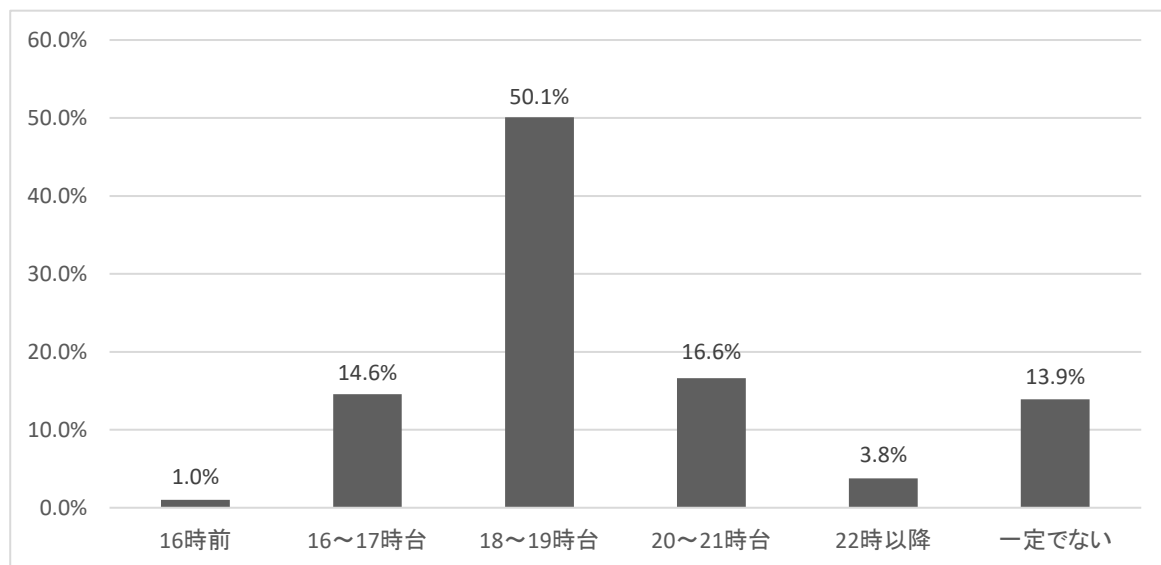
前回調査に比べて「7時台に家を出る人」と「18～19時台に帰宅する人」の割合が増加している。

[家を出る時間]



n=583

[帰宅時間]



n=583

(2) - 1 母親の就労状況について

- ・就労している人（育児・介護休暇中を含む）が90.1%である。
- ・うち「フルタイム」の人は48.6%、「交代勤務」の人は2.3%、「育休・介護休暇中」の人は8.9%である。
- ・前回調査に比べて、「フルタイム」と「交替勤務」の人はほぼ同じ割合であるが、「育休・介護休暇中」の人は2.3ポイント増加した。
- ・「現在、就労していない」が9.9%であり、前回調査から6.4ポイント減少しており、パート・アルバイトを含め、子育て世帯の母親の就労が進んでいると考えられる。

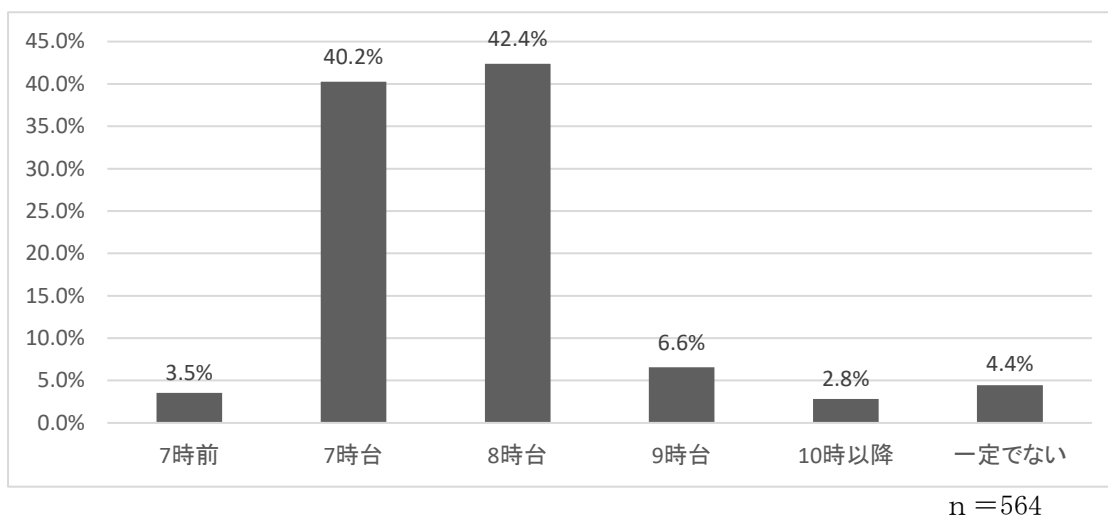
回答内容	回答数	回答率
フルタイム	271	41.4%
フルタイムだが、育休・介護休暇中	47	7.2%
パート・アルバイト等	243	37.2%
パート等だが、育休・介護休暇中	11	1.7%
交代勤務	15	2.3%
単身赴任中	2	0.3%
現在、就労していない	65	9.9%

n= 654

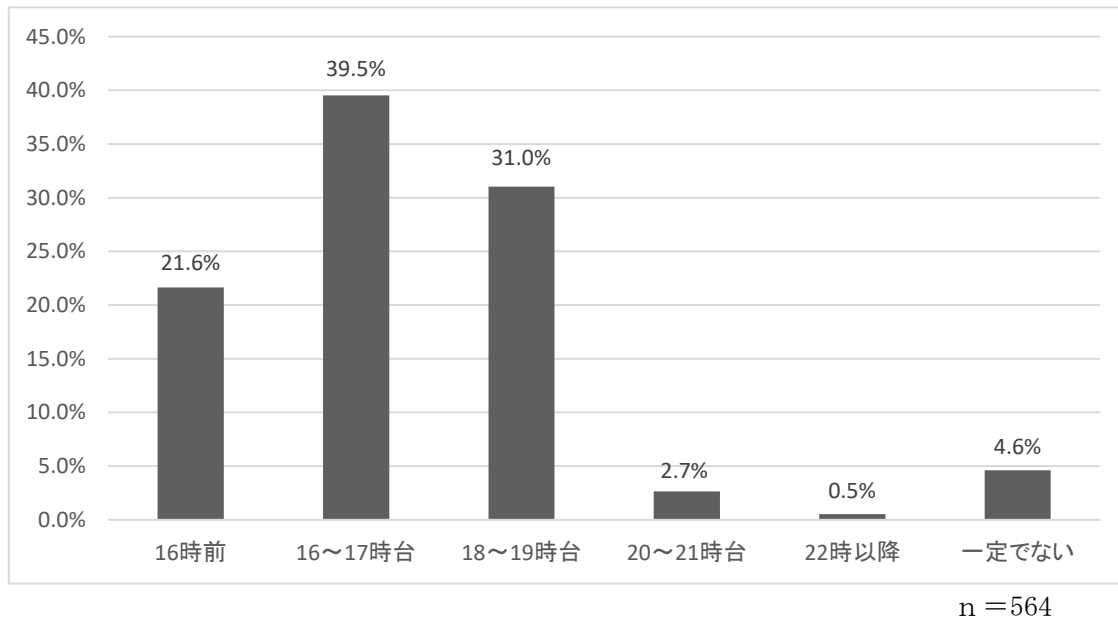
## (2) - 2 家を出る時刻と帰宅する時刻について

- ・家を出る時間は、8時台が42.4%、次いで7時台が40.2%であり、7時台が前回調査に比べて13.3ポイント増加した。
- ・帰宅時間は、16～17時台が39.5%、次いで18～19時台が31.0%、16時前が21.6%であり、それぞれに時間帯は前回調査とほぼ同じ割合である。

[家を出る時間]



[帰宅時間]



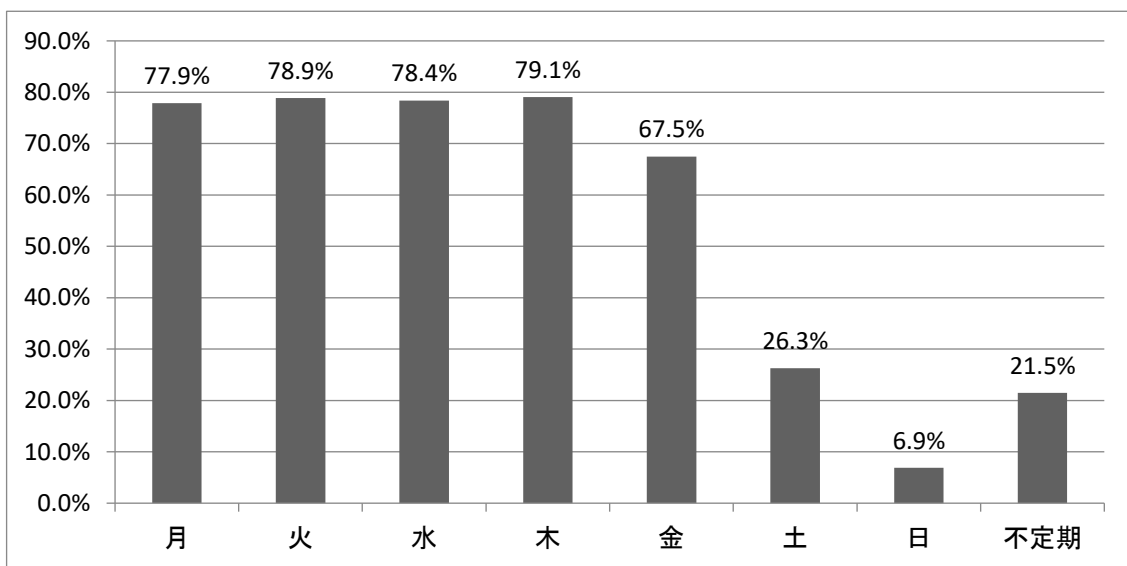


【問15】 就労の曜日についてお伺いします。該当する曜日の全てにチェックをつけてください。

(1) 父親

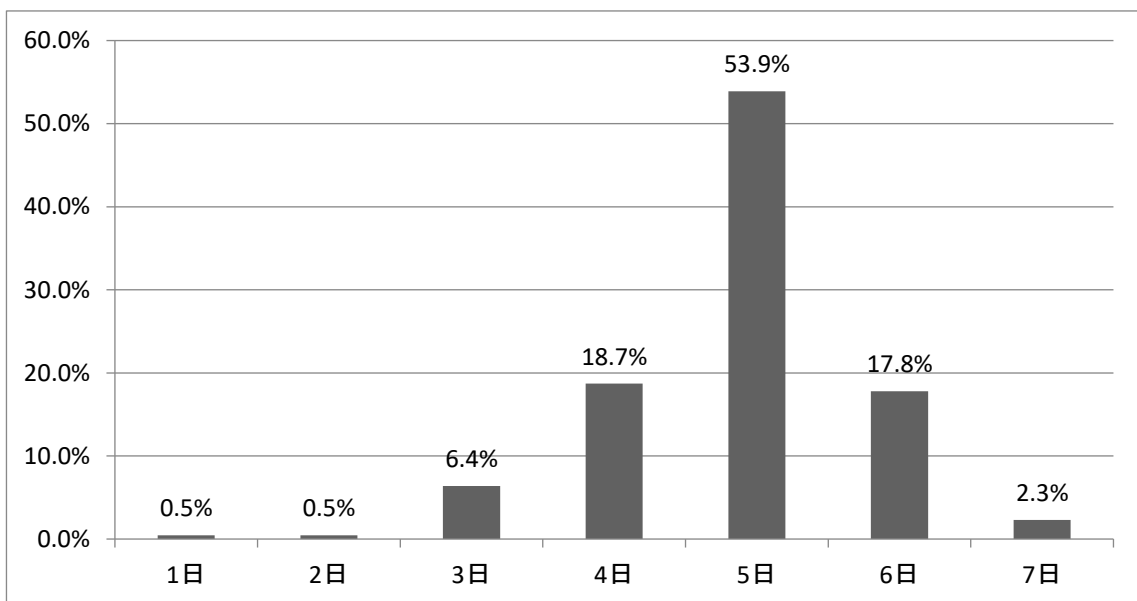
- ・曜日別では、月曜日から木曜日までがいずれも80%程度である。
- ・金曜日に勤務している人は67.5%、土曜日に勤務している人は26.3%である。
- ・前回調査に比べて、金曜日に勤務している人が4.1ポイント減少した。
- ・就労曜日が不規則の人について、1週間の就労日数は、5日が53.9%、4日が18.7%、6日が17.8%である。

[就労曜日]



n = 578

[不規則の方の就労日数]

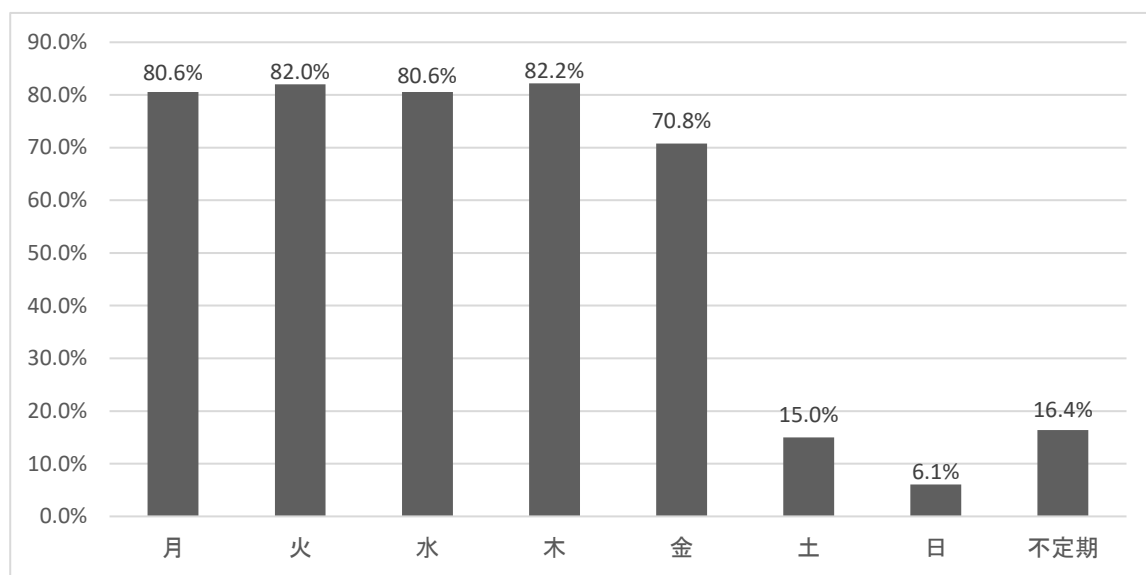


n = 219

## (2) 母親

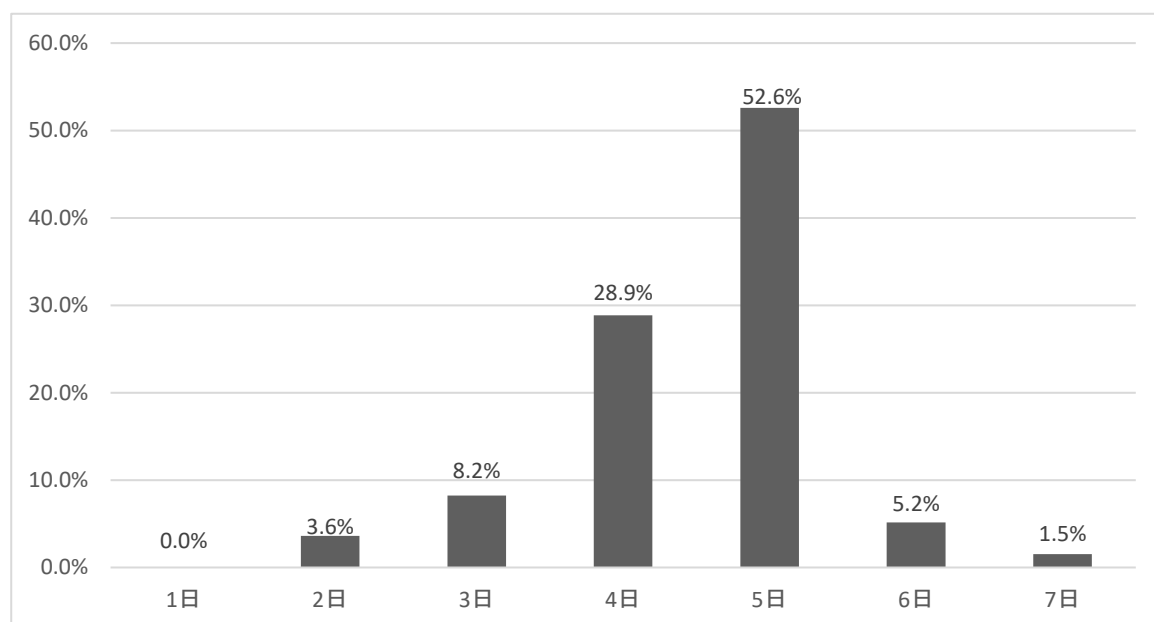
- ・曜日別では、月曜日から木曜日までがいずれも80%を超えている。
- ・金曜日に勤務している人は70.8%、土曜日に勤務している人は15.0%である。
- ・前回調査に比べて、月曜日から木曜日に勤務している人がそれぞれ10ポイント以上増加した。
- ・就労曜日が不規則の人について、1週間の就労日数は、5日が52.6%、4日が28.9%、6日が5.2%である。

[就労曜日]



n = 561

[不規則の方の就労日数]



n = 194

## 第5章 保育園等の利用について

【問16】 現在、日常的にお子さんが保育園等を利用しているご家庭に伺います。

(1) 利用しているもの全てにチェックをつけてください。

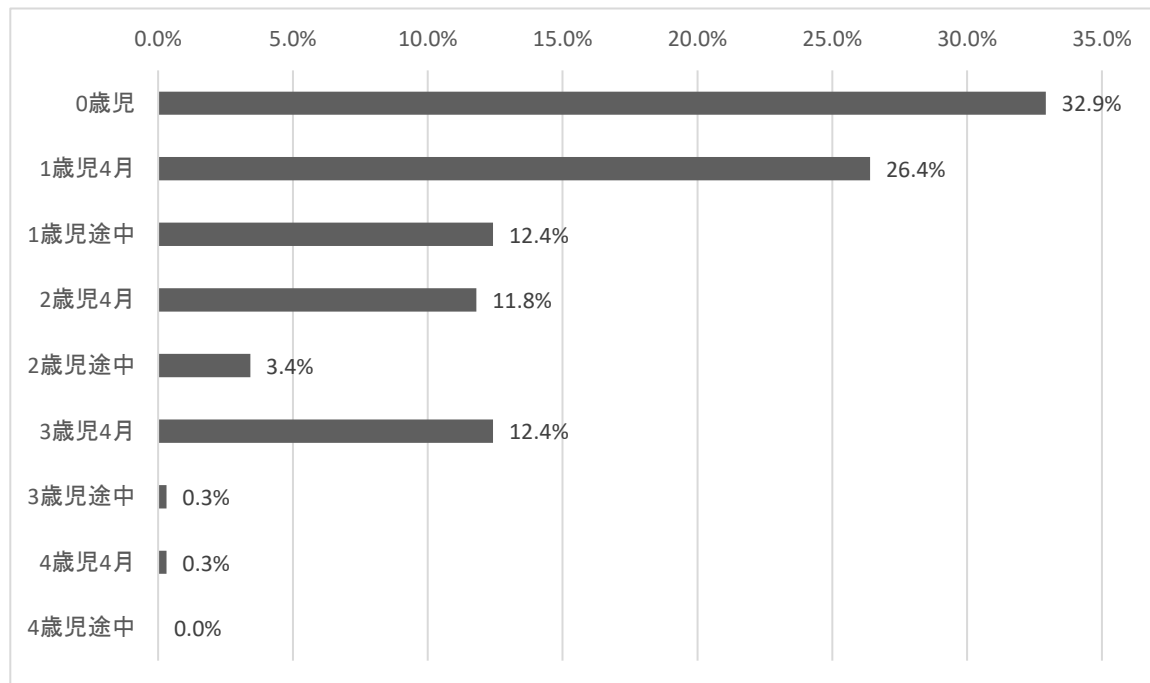
- ・「市内の認定こども園」が58.2%、「市内の保育園」が42.7%であり、こども園は前回調査から7.4ポイント増加した。
- ・「市外の保育園・幼稚園、事業所内保育施設」の合計が2.1%である。
- ・「ファミリーサポートセンター」が2.1%である。

回答内容	回答数	回答率	
妙高市内の保育園	144	42.7%	42.7%
妙高市外の保育園	3	0.9%	0.9%
妙高市内の認定こども園	196	58.2%	58.2%
妙高市外の認定こども園	0	0.0%	0.0%
妙高市外の幼稚園	1	0.3%	0.3%
事業所内保育施設	3	0.9%	0.9%
居宅訪問型保育	1	0.3%	0.3%
ファミリー・サポート・センター	7	2.1%	2.1%
その他	2	0.6%	0.6%

n= 337

## (2) 利用を始めた時期について

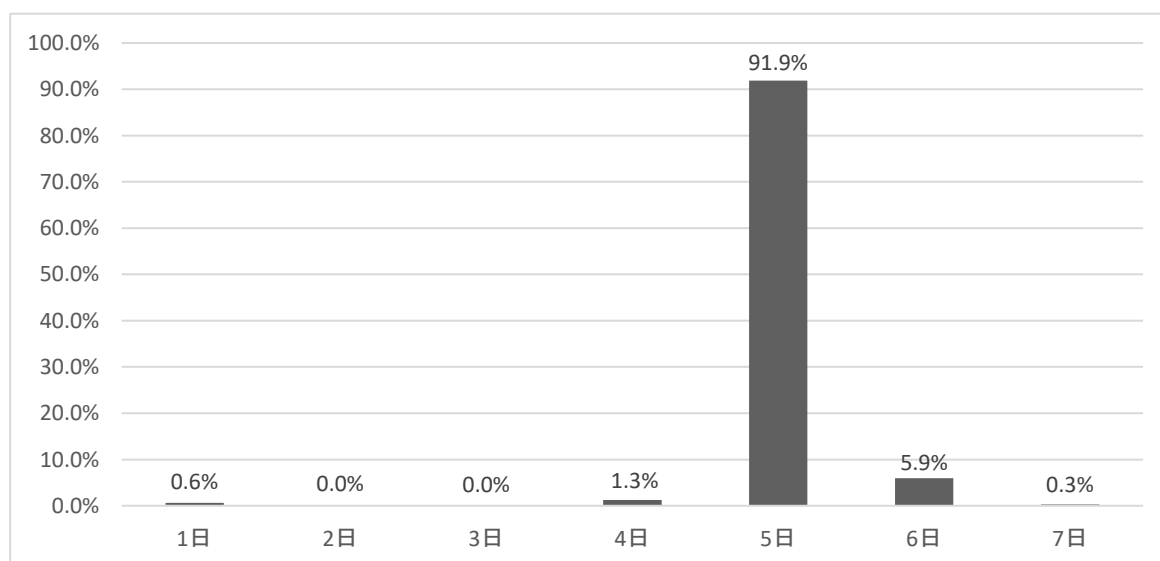
- ・「0歳児」からの利用が32.9%と最も高く、次いで「1歳児4月」からの利用が26.4%である。
- ・「1歳児途中」「2歳児4月」「3歳児4月」からの利用がそれぞれ10%程度である。



n = 322

## (3) - 1 1週間当たりの利用日数

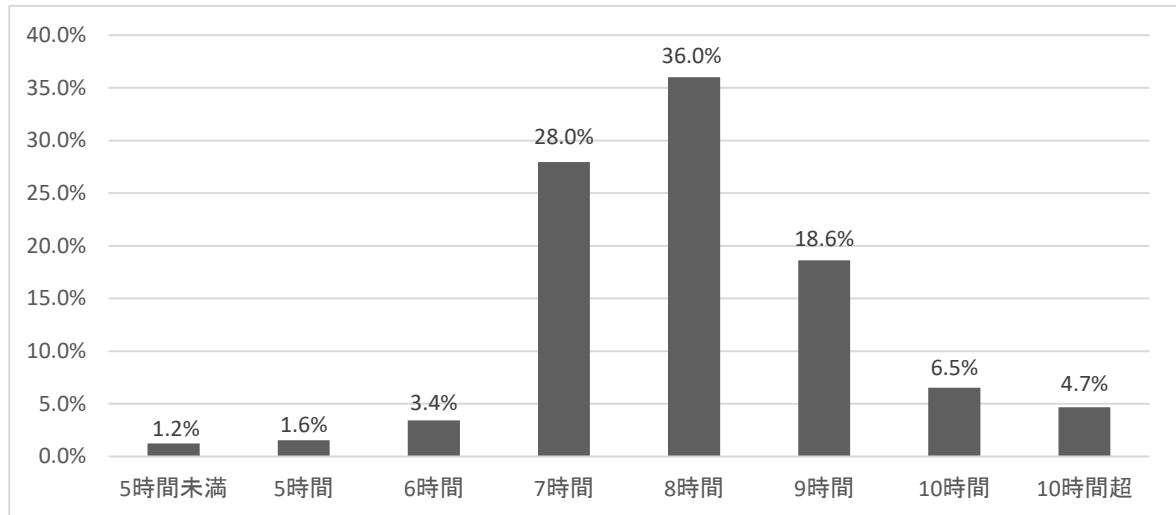
- ・週5日の利用が91.9%である。
- ・前回調査では、週5日の利用が88.5%であり、3.4ポイント増加した。



n = 320

### (3) - 2 1日当たりの利用時間

- ・1日8時間の利用が36.0%と最も多く、前回調査から9.3ポイント増加した。
- ・次いで、1日7時間の利用が28.0%で、前回から2.1ポイント減少した。
- ・全体的に利用時間が長くなっている。

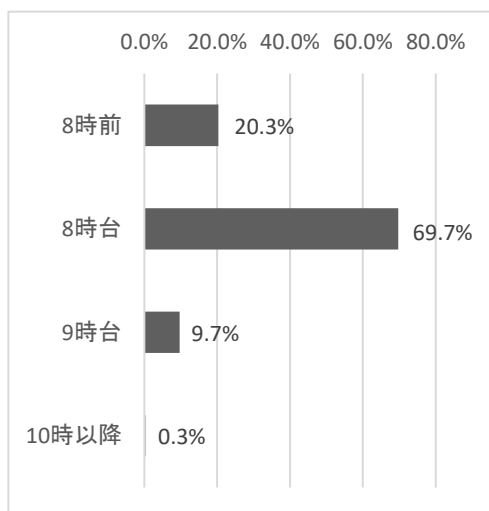


n = 322

### (3) - 3 利用の時間帯

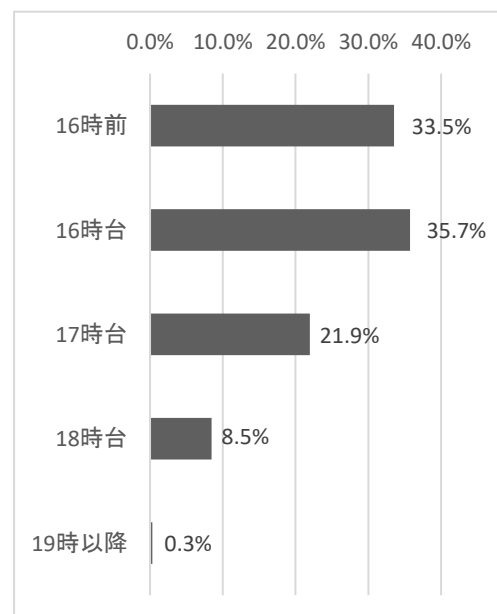
- ・利用開始は「8時前」が20.3%、「8時台」が69.7%で、前回調査に比べて、8時前の割合が増えている。
- ・利用終了は「16時前」が33.5%、「16時台」が35.7%、「17時台」が21.9%で、前回に比べて、17時台の割合が増えている。
- ・利用開始が早まり、利用終了が遅くなっている傾向にある。

[利用開始時間]

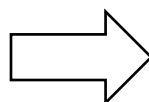


n = 320

[利用終了時間]



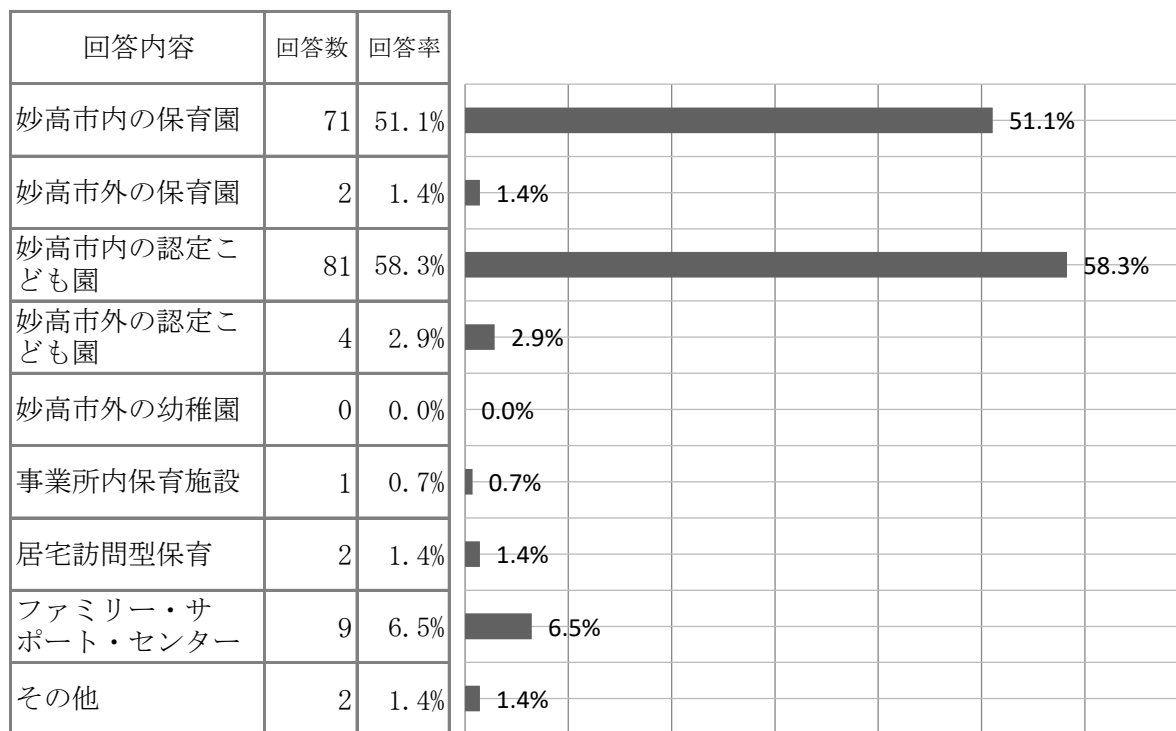
n = 319



【問17】 今後、日常的に保育園等を利用する予定や希望があるご家庭に伺います。

(1) 利用する予定や希望があるもの

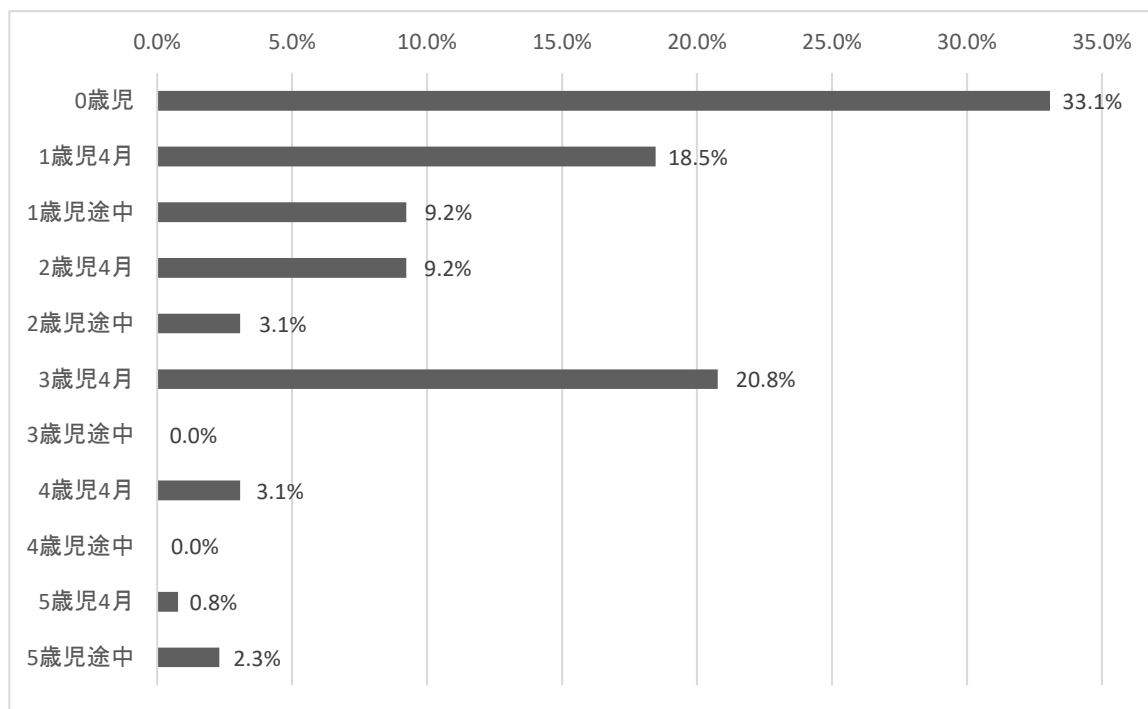
- ・「市内の保育園」が51.1%、「市内の認定こども園」が58.3%であり、前回調査に比べて、こども園が19.0ポイント増加した。
- ・「ファミリーサポートセンター」が6.5%であり、前回とほぼ同じ割合である。



n= 139

## (2) 利用開始を希望する時期について

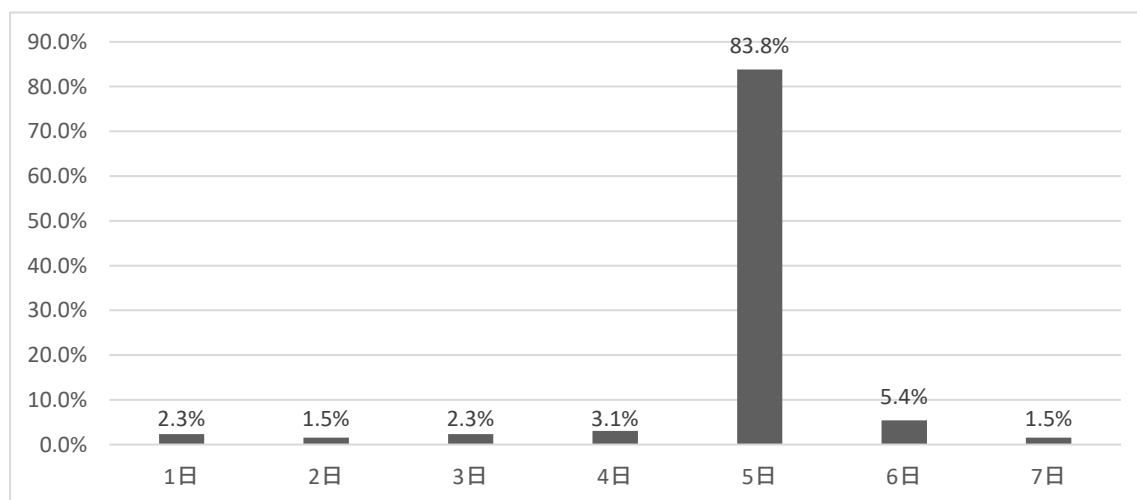
- ・「0歳児」からの利用希望が33.1%と最も高く、次いで「3歳児4月」が20.8%、「1歳児4月」が18.5%、「1歳児途中」が9.2%、「2歳児4月」が9.2%の順である。
- ・0歳児、1歳児4月、3歳児4月のタイミングで保育園等の利用を希望する人が多い。



n = 130

## (3) - 1 1週間当たりの利用日数

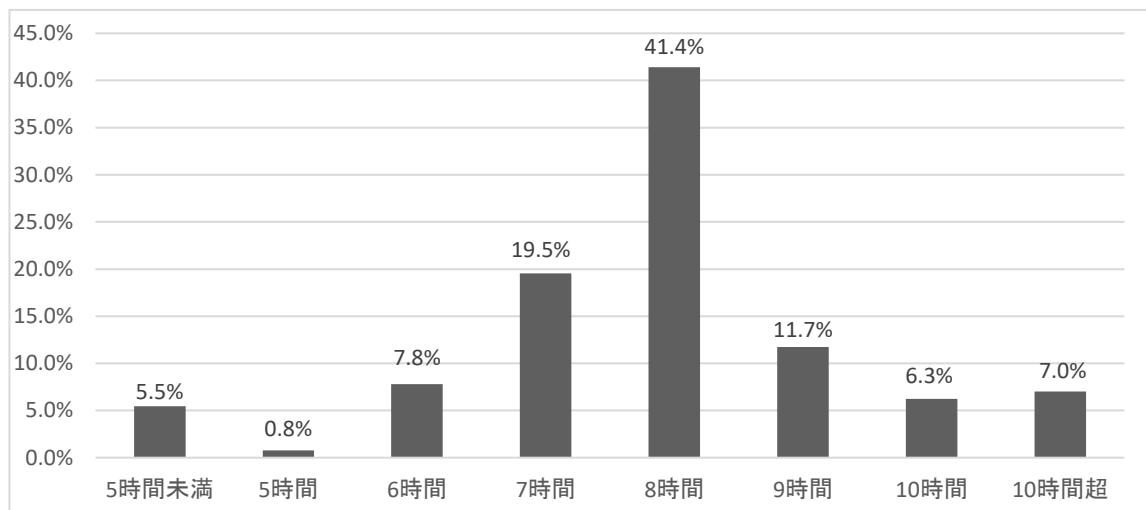
- ・週5日の利用希望が83.8%である。



n = 130

### (3) - 2 1日当たりの利用時間

- ・1日8時間の利用希望が41.4%で最も多い。
- ・次いで1日7時間の利用希望が19.5%、9時間が11.7%である。
- ・それぞれの回答割合は、実際の利用時間とほぼ同じ結果である。

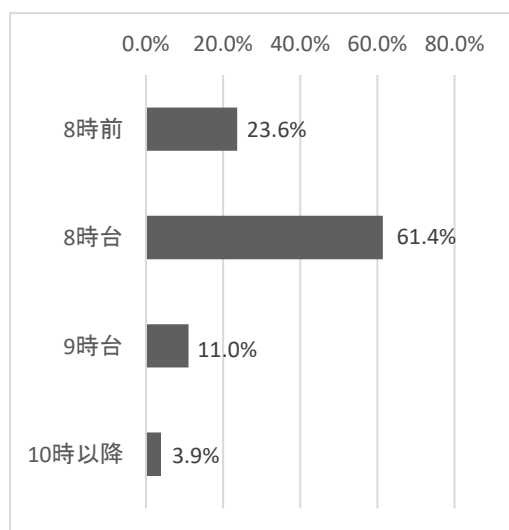


n = 128

### (3) - 3 利用の時間帯

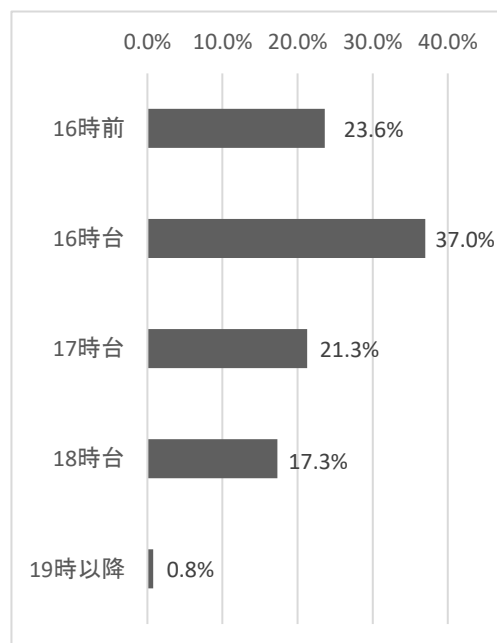
- ・希望する利用開始は「8時前」が23.6%、「8時台」が61.4%である。
- ・希望する利用終了は「16時前」が37.0%、「16時台」が23.6%、「17時台」が21.3%であり、それぞれの回答割合は、実際の利用時間とほぼ同じ結果である。

[利用開始時間]



n = 127

[利用終了時間]



n = 127



【問18】 過去に日常的に保育園等を利用していたご家庭に伺います。

(1) 利用していたもの

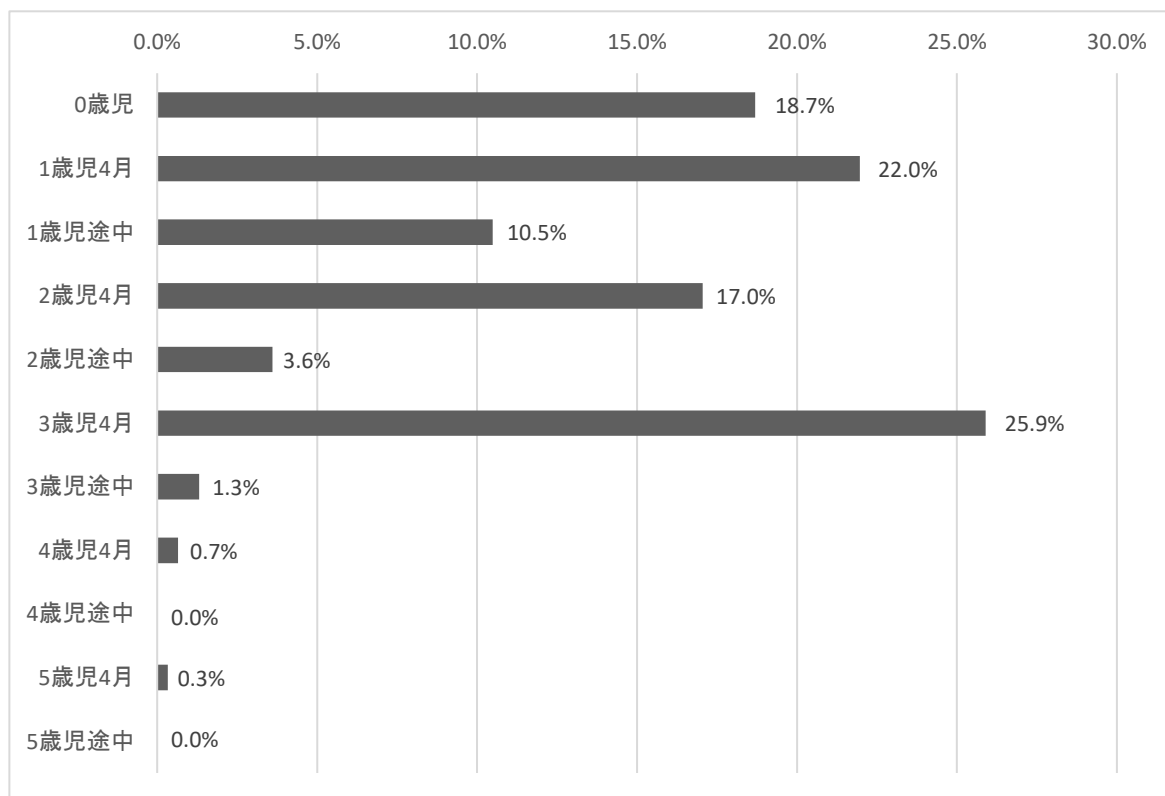
- ・「市内の保育園」が61.3%、「市内の認定こども園」が49.2%である。
- ・現在の利用に比べて、「市外の保育園など」が多いのは、市外からの転入者が含まれているためだと考えられる。
- ・「事業所内保育施設」については、市内では平成28年度まで、1箇所で開催されていた。

回答内容	回答数	回答率	
妙高市内の保育園	193	61.3%	61.3%
妙高市外の保育園	21	6.7%	6.7%
妙高市内の認定こども園	155	49.2%	49.2%
妙高市外の認定こども園	2	0.6%	0.6%
幼稚園	6	1.9%	1.9%
事業所内保育施設	5	1.6%	1.6%
居宅訪問型保育	1	0.3%	0.3%
ファミリー・サポート・センター	12	3.8%	3.8%
その他	0	0.0%	0.0%

n= 315

## (2) 利用を開始した時期

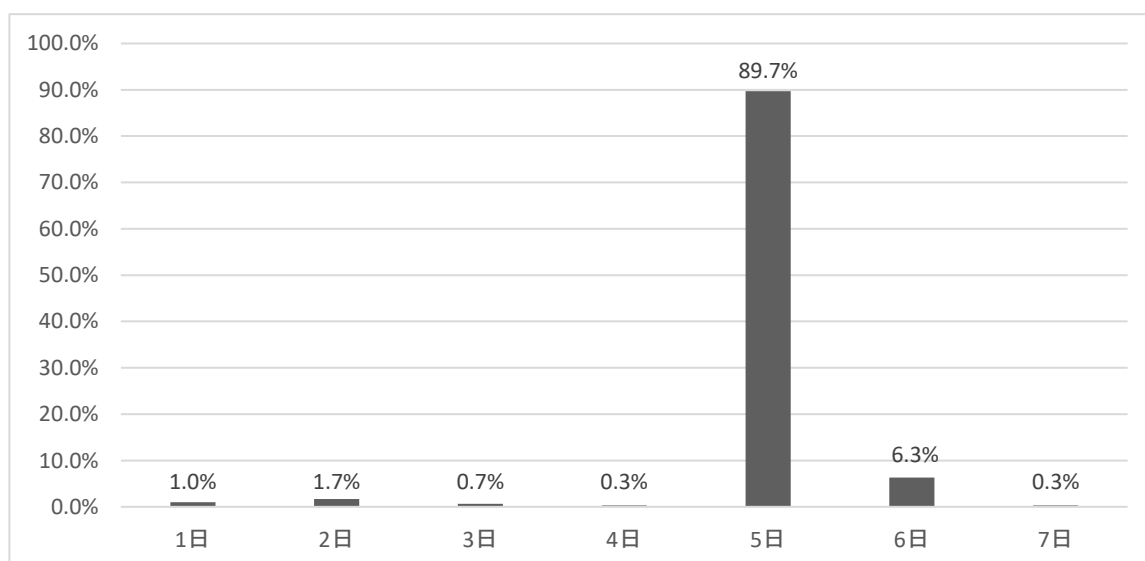
- 過去の利用について、利用開始が「3歳児4月」が25.9%と最も多く、次いで「1歳児4月」が22.0%、「0歳児」が18.7%、「2歳児4月」が17.0%である。



n = 305

## (3) - 1 1週間当たりの利用日数

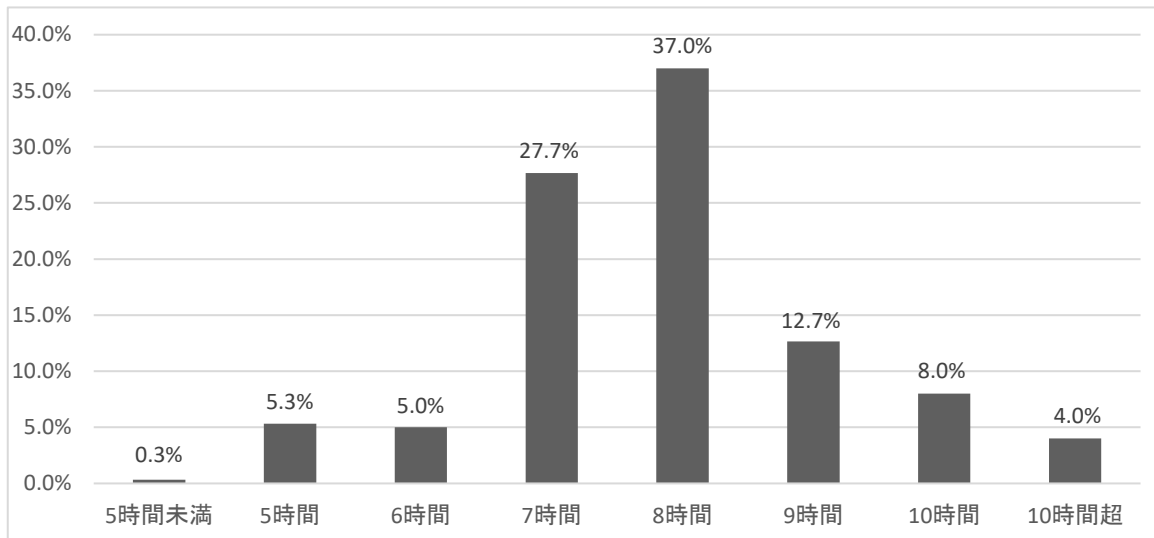
- 過去の利用について、週5日の利用が89.7%である。



n = 302

### (3) - 2 1日当たりの利用時間

- ・過去の利用について、1日8時間の利用が37.0%である。
- ・次いで、7時間の利用が27.7%である。

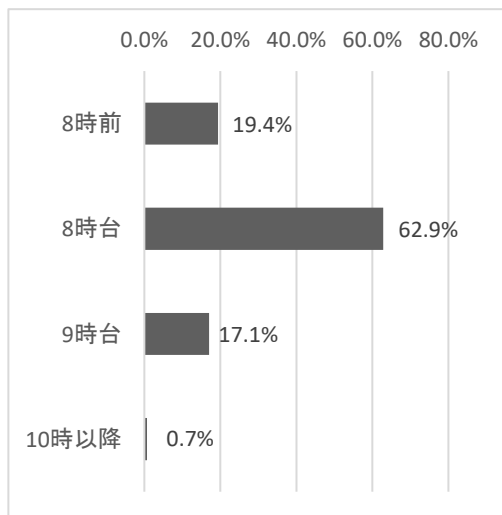


n = 300

### (3) - 3 利用の時間帯

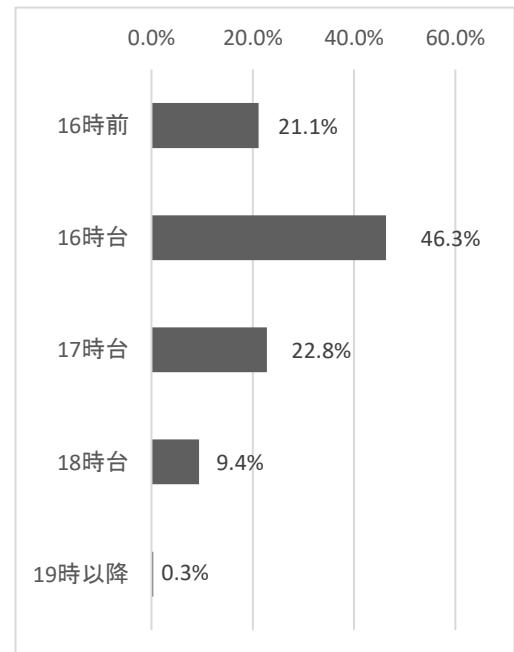
- ・過去の利用について、利用開始が8時台が62.9%である。
- ・また、終了時間が16時台が46.3%である。

[利用開始時間]

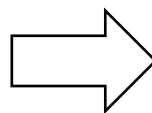


n = 299

[利用終了時間]



n = 298

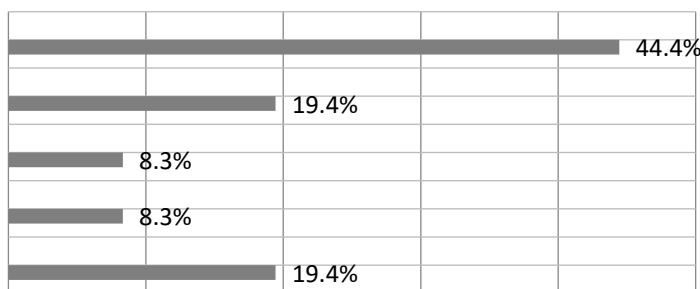


【問19】 現在、日常的に保育園等を利用していないご家庭に伺います。その際の、日中のお子さんの過ごし方についてご記入ください。

- ・「家で過ごす」が44.4%と最も多く、次いで「子育て広場に行く」が19.4%である。
- ・分母が少ないため、参考数値とする。

回答内容	回答数	回答率
家庭で過ごす	16	44.4%
子育て広場に行く	7	19.4%
公園や外で遊ぶ	3	8.3%
祖父母にみてもらう	3	8.3%
その他	7	19.4%

n = 36

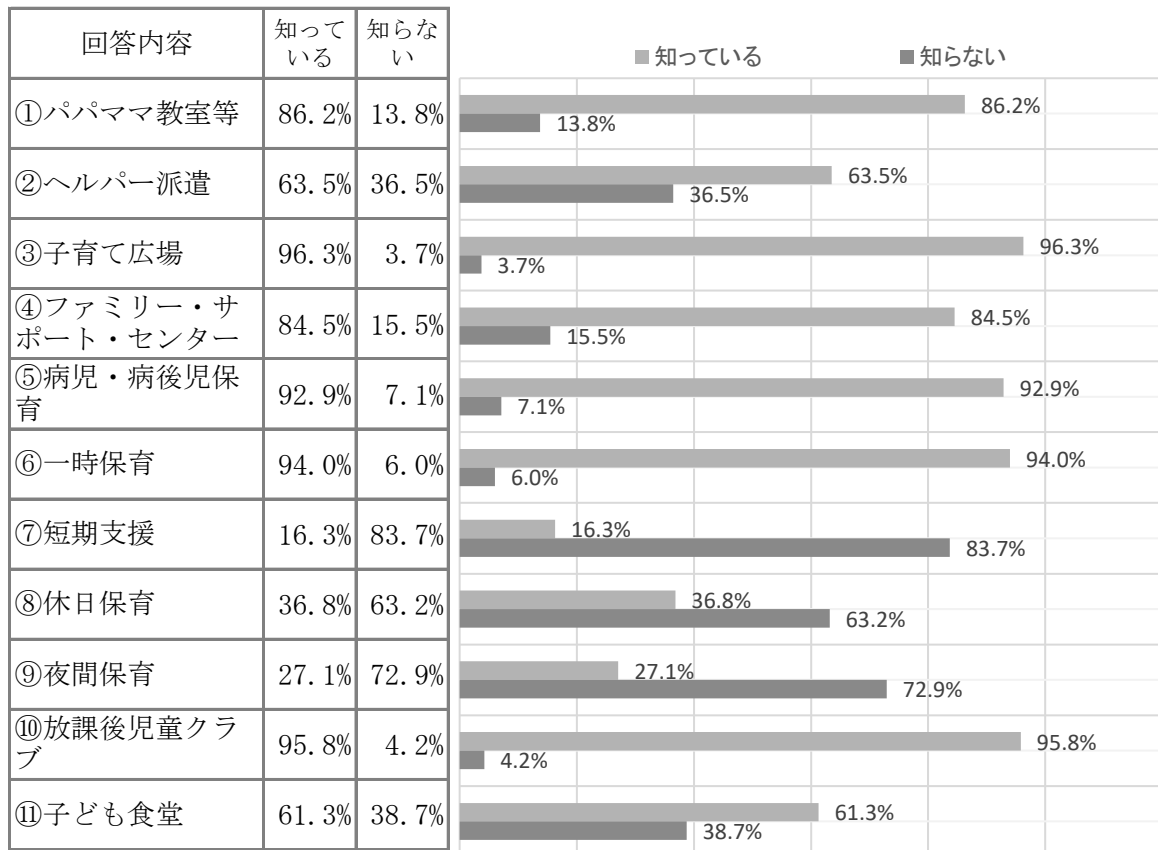


## 第6章 子育て支援事業について

【問20】 子育て支援の取組について、「知っているもの」「利用したことがあるもの」「今後利用したいもの」ごとに、あてはまるものを選択してください。

(1) 次の取組を知っていますか

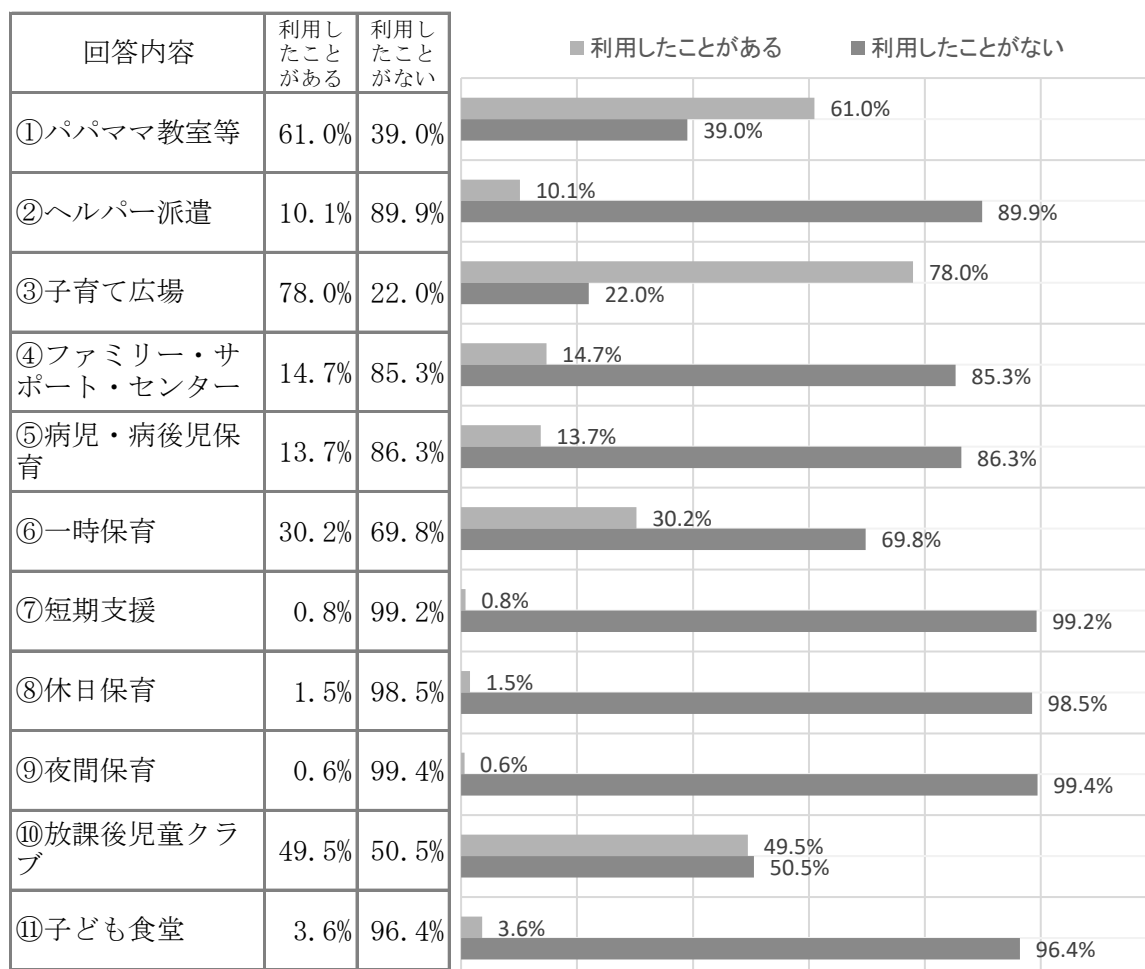
- ・「子育て広場」「病児・病後児保育」「一時保育」「放課後児童クラブ」を知っている人がそれぞれ90%を超えている。
- ・一方、妙高市では未実施の「子育て短期支援」「休日・夜間保育」を知っている人は少ない。
- ・新たな取組の「子ども食堂」を知っている人は61.3%であり、認知されていると考えられる。



n= 563

(2) 次の取組を利用したことがありますか

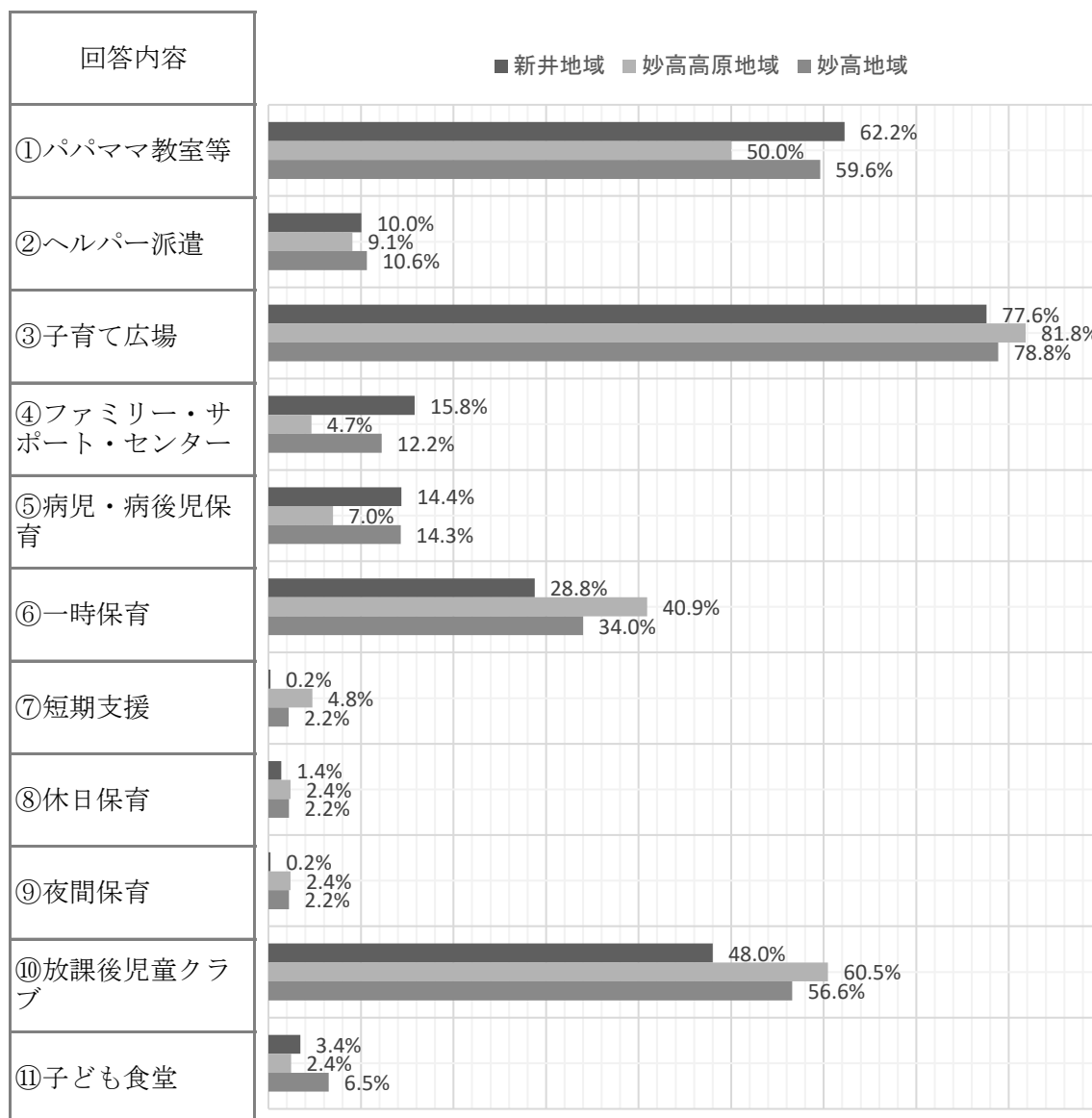
- ・「子育て広場」を利用したことがある人が78.0%、「パパママ教室等」が61.0%、「放課後児童クラブ」が49.5%であり、前回調査に比べてそれぞれの利用が進んでいる。
- ・一方、「産前産後ヘルパー派遣」、「ファミリー・サポート・センター」、「病児・病後児保育」はそれぞれ15%以下であり、今後の利用促進が課題である。



n= 547

[地域別利用状況]

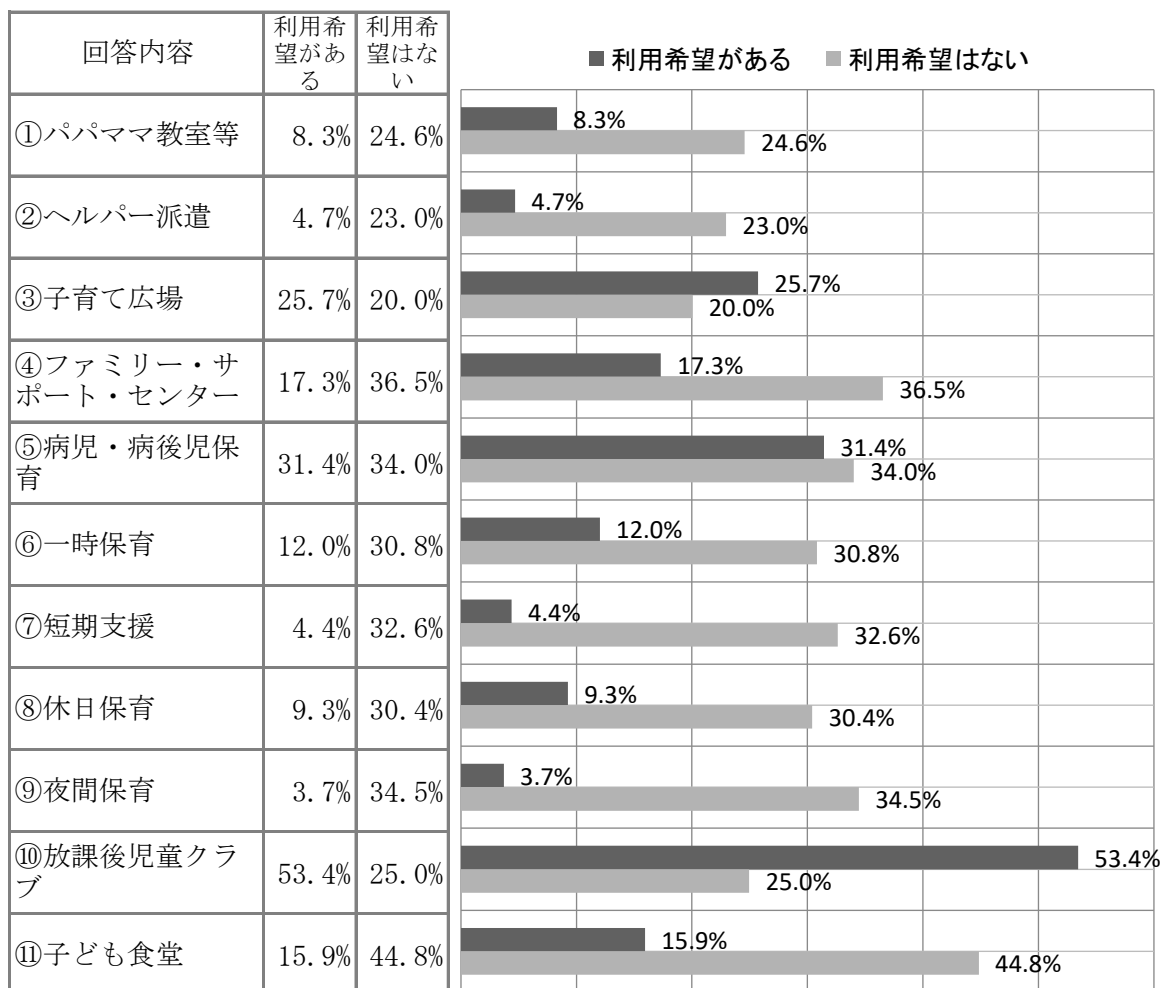
- ・地域別に利用状況を見ると、妙高高原地域では他地域に比べて、「パパママ教室等」、「ファミリー・サポート・センター」、「病児・病後児保育」の利用割合が低い。
- ・一方、「一時保育」、「放課後児童クラブ」の利用割合が高い。
- ・妙高高原地域と妙高地域の回答数が少ないため、参考数値とする。



新井地域：n = 453      妙高高原地域：n = 43      妙高地域：n = 49

(3) 今後、次の取組の利用希望はありますか

- ・今後、「放課後児童クラブ」の利用希望がある人が53.4%、「病児・病後児保育」が31.4%、「子育て広場」が25.7%であり、一定以上のニーズがある。
- ・一方、「産前産後ヘルパー派遣」「子育て短期支援」「夜間保育」の利用希望がある人は5%以下である。

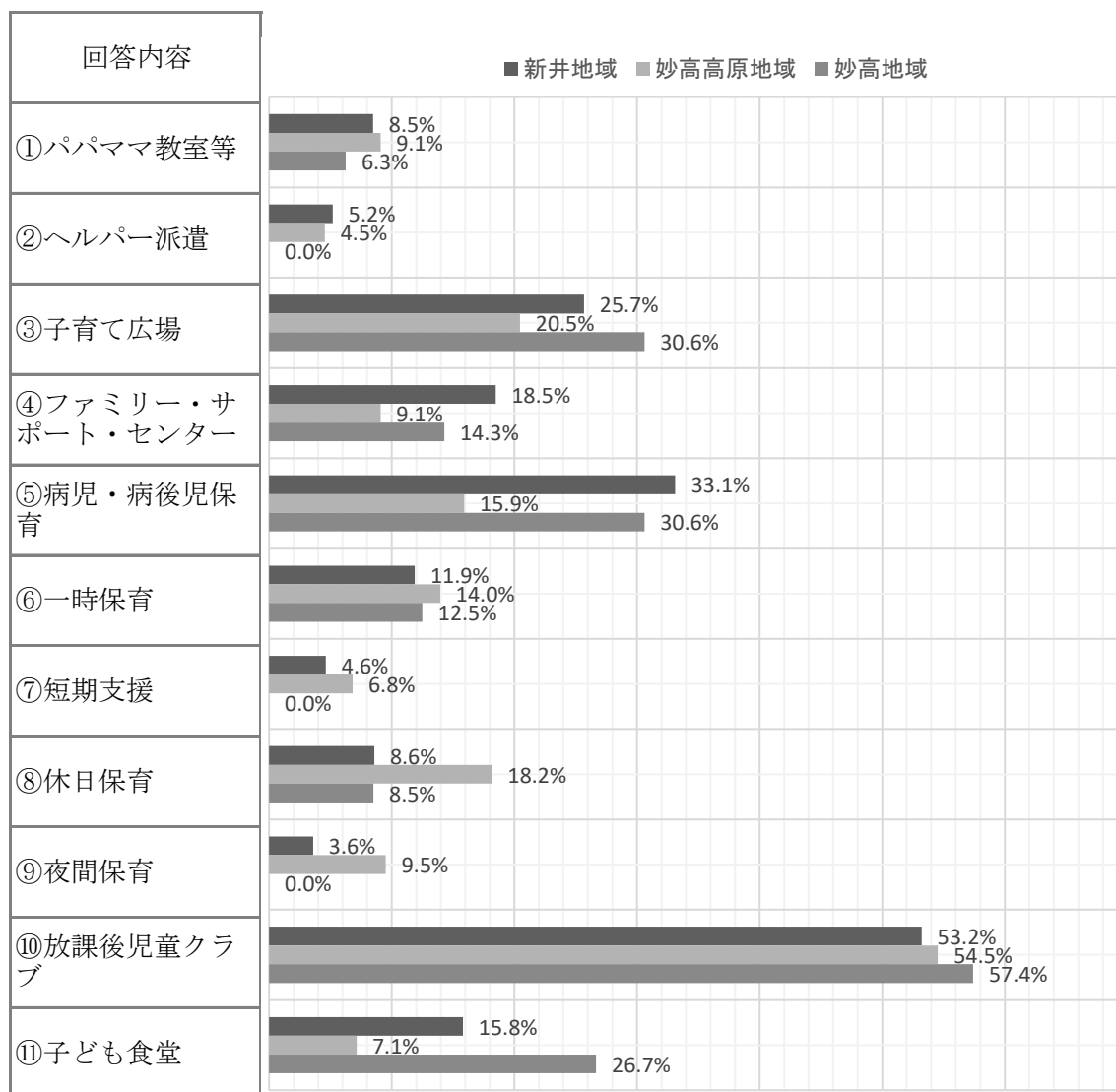


n= 575



[地域別今後の利用希望]

- ・地域別に見ると、妙高高原地域では他地域に比べて、「子育て広場」、「ファミリー・サポート・センター」、「病児・病後児保育」の利用を希望する割合が低い。
- ・一方、「休日保育」の利用を希望する割合が高い。
- ・妙高高原地域と妙高地域の回答数が少ないため、参考数値とする。



新井地域：n = 481

妙高高原地域：n = 44

妙高地域：n = 48

【問21】 今まで、お子さんが病気になった時の困りごとについて、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

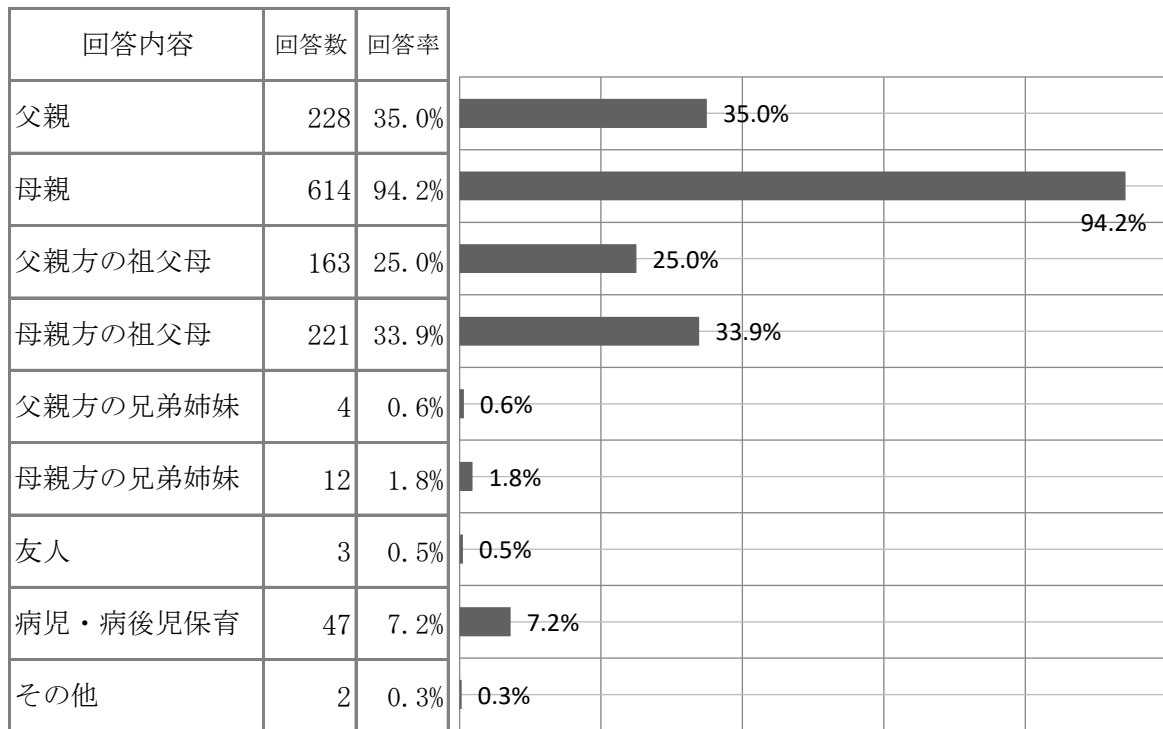
- ・「仕事を休めない」が78.4%であり、前回調査から24.5ポイント増加した。
- ・「みてくれる人がいない」が34.0%で、こちらも前回から14.9ポイント増加した。
- ・「その他」の回答として、「困りごとはない」が半分以上であった。

回答内容	回答数	回答率				
仕事を休めない	380	78.4%		78.4%		
相談する人がいない	51	10.5%		10.5%		
みてくれる人がいない	165	34.0%		34.0%		
預かり先がわからない	38	7.8%		7.8%		
その他	29	6.0%		6.0%		

n= 485

【問22】 今まで、お子さんが病気になった時に主に看病する方について、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

- ・「母親」が94.2%であり、前回調査から4.4ポイント増加した。
- ・「父親」が35.0%であり、こちらは前回調査から2.7ポイント増加した。
- ・子どもを看病する人は、全体的に前回調査から大きな変化はない。



n= 652

【問23】 今後、お子さんが病気になった時の対応について、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

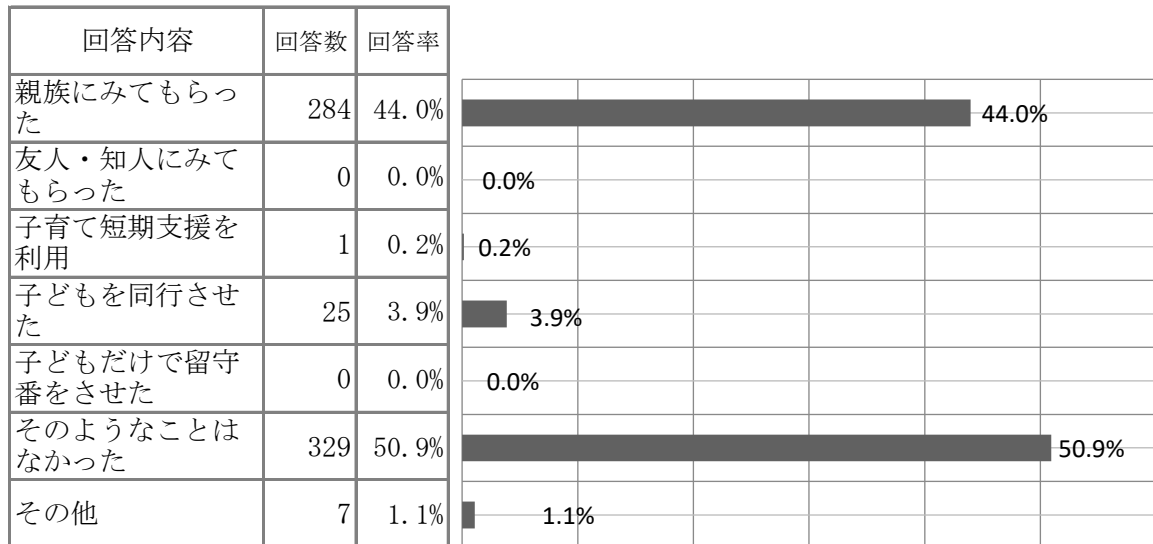
- ・「家族が休んで看病」が94.0%であり、前回調査から5.0ポイント増加した。
- ・「親族に看病してもらおう」が45.1%であり、前回から1.5ポイント減少した。
- ・「病児・病後児保育」が17.3%であり、前回調査から8.2ポイント増加した。
- ・親族に頼るより、自らが休んだり、病児・病後児保育の利用を予定している人が増える傾向にあると考えられる。

回答内容	回答数	回答率	
家族が休んで看病	610	94.0%	94.0%
親族に看病してもらおう	293	45.1%	45.1%
友人・知人に看病	3	0.5%	0.5%
上越市の病児・病後児保育	16	2.5%	2.5%
妙高市の病児・病後児保育	112	17.3%	17.3%
ファミリー・サポート・センター	27	4.2%	4.2%
その他	10	1.5%	1.5%

n= 649

【問24】 今まで、保護者の用事でお子さんを泊りがけで見てもらった必要があった時、どのように対応したかについて、あてはまるものを選択してください。

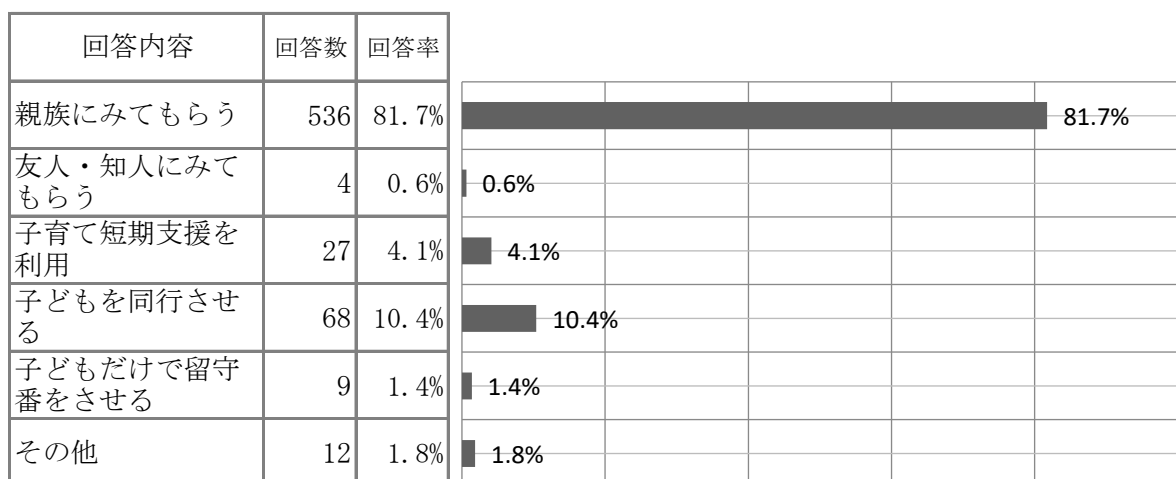
- ・「親族にみてもらった」が44.0%であり、前回調査から22.5ポイント減少した。
- ・「そのようなことはなかった」が50.9%である。



n= 646

【問25】 今後、保護者の用事でお子さんを泊りがけで見てもらった必要が起きた場合、どのように対応するかについて、あてはまるものを選択してください

- ・「親族にみてもらう」が81.7%であり、前回調査から2.3ポイント減少した。
- ・「子どもを同行させる」が10.4%であり、前回とほぼ同じ割合であるため、やむを得ず子どもを同行させる人が一定数いると考えられる。

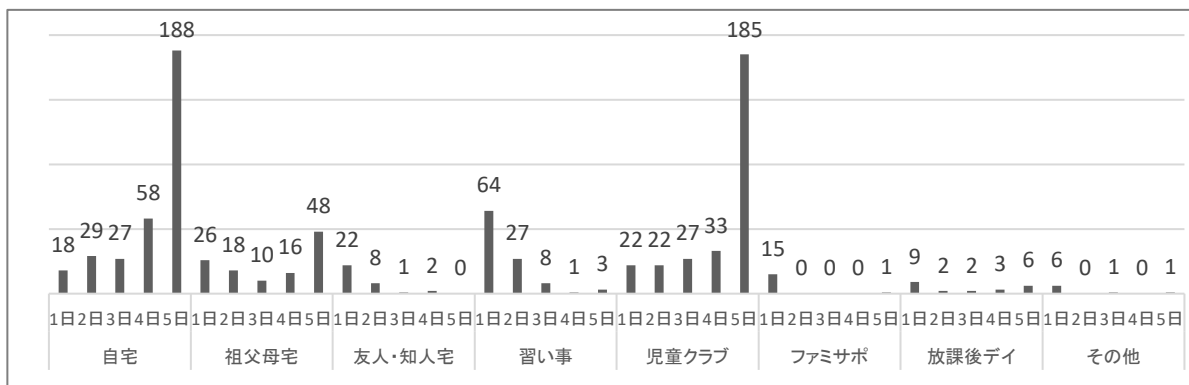


n= 656

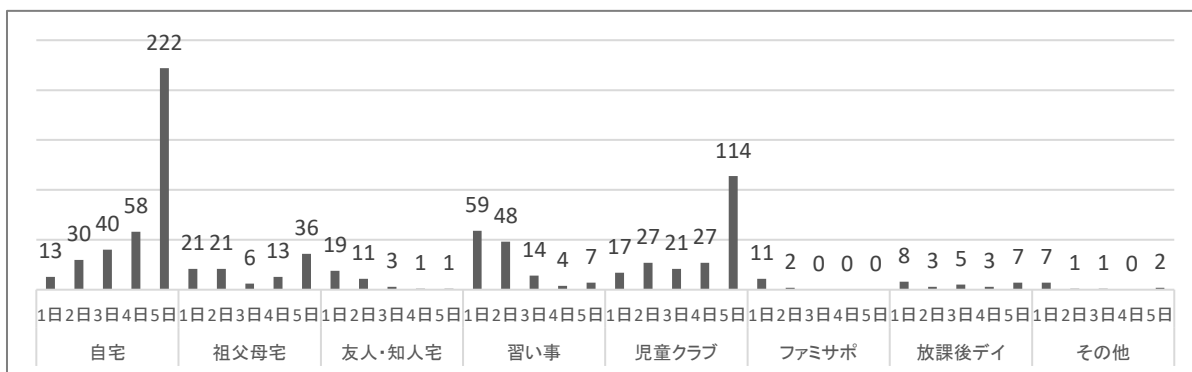
【問26】 平日、小学校の放課後にお子さんを「どこで」「何日くらい」過ごさせたいか（過ごさせる予定か）について、場所ごとにあてはまるものを選択してください。

- ・回答の選択肢は「自宅」、「祖父母宅」のように、自宅等で過ごすことや、「習い事や塾」、「放課後児童クラブ」など子育て支援サービスの利用などを尋ねている。
- ・全体的に、各学年とも似たような傾向だが、中学年から習い事の日数が増え、学年が進むほど放課後児童クラブの利用日数が減少している。

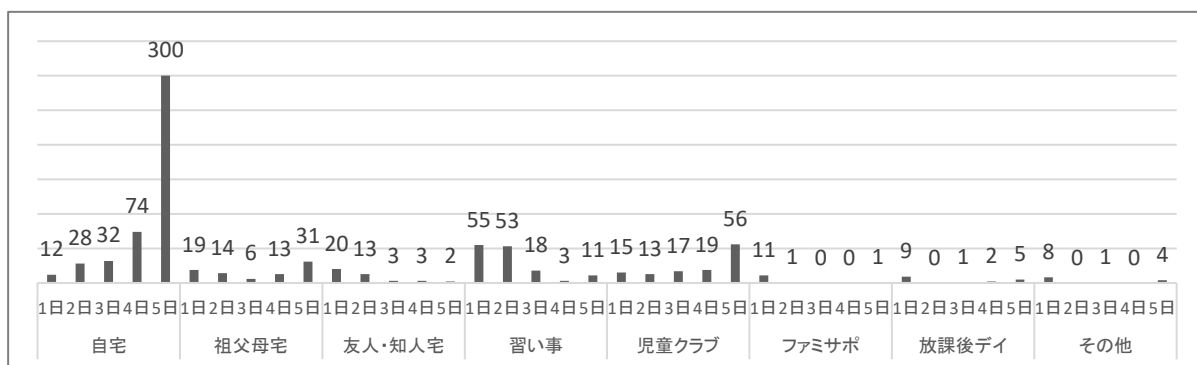
(1) 低学年（1～2年生）の間



(2) 中学年（3～4年生）の間



(3) 高学年（5～6年生）の間



【問27】 お子さんの放課後児童クラブの利用希望（長期休業期間以外の通常利用）について、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

- ・「低学年の間」が41.7%、「中学年まで」が36.1%であり、前回調査よりそれぞれ10ポイント以上増加した。なお、「利用の希望はない」が33.7%である。

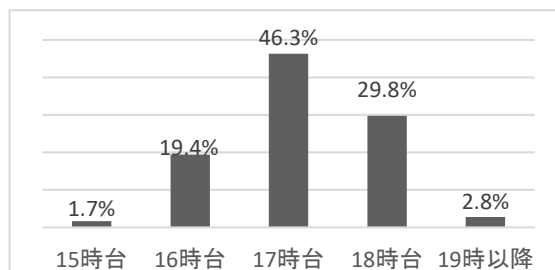
回答内容	回答数	回答率
低学年の間は利用したい	260	41.7%
中学年まで利用したい	225	36.1%
高学年まで利用したい	96	15.4%
時々利用したい	182	29.2%
利用の希望はない	210	33.7%

n = 624

[利用希望時間（終了時間）]

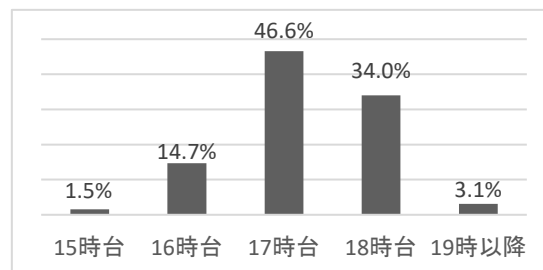
- ・各学年とも、17時台までの利用希望が最も多く、次いで18時台が多い。
- ・少数ではあるが、19時以降までの利用希望もある。

[低学年]



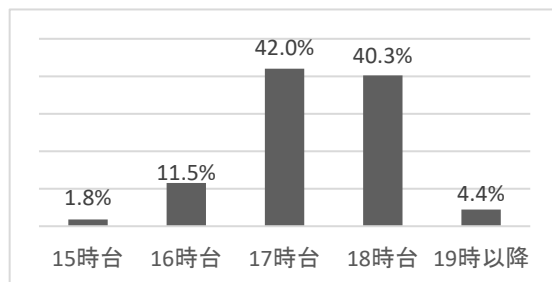
n = 356

[中学年]



n = 326

[高学年]



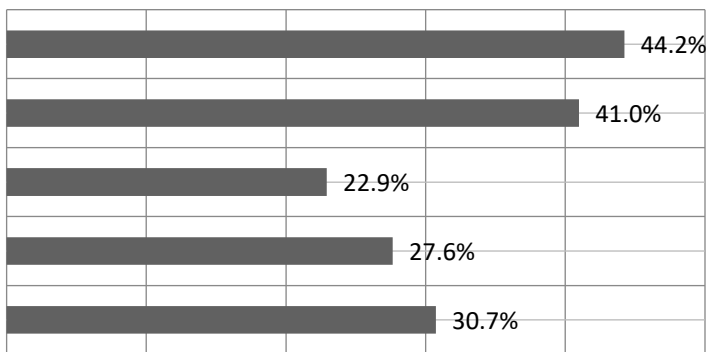
n = 226

【問28】 お子さんの長期休業期間中（夏休み、冬休み、春休み）の、放課後児童クラブの利用希望について、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

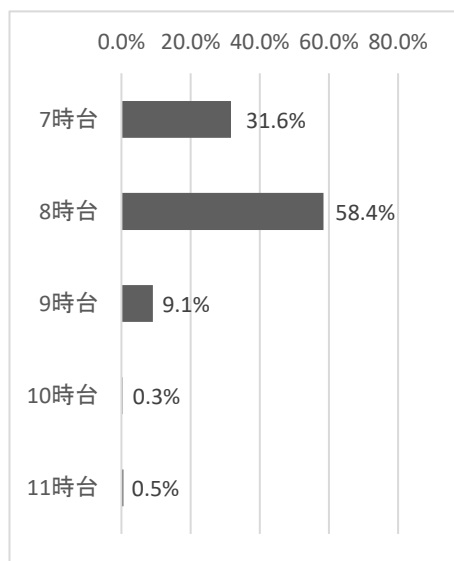
- ・「低学年の間」が44.2%、「中学年まで」が41.0%であり、前回調査よりそれぞれ20ポイント近く増加した。なお、「利用の希望はない」が30.7%である。

回答内容	回答数	回答率
低学年の間は利用したい	272	44.2%
中学年まで利用したい	252	41.0%
高学年まで利用したい	141	22.9%
時々利用したい	170	27.6%
利用の希望はない	189	30.7%

n = 615

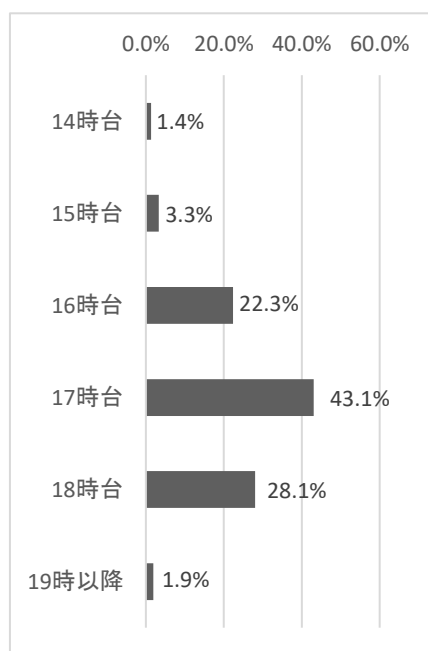


[低学年の利用開始時刻]



n = 373

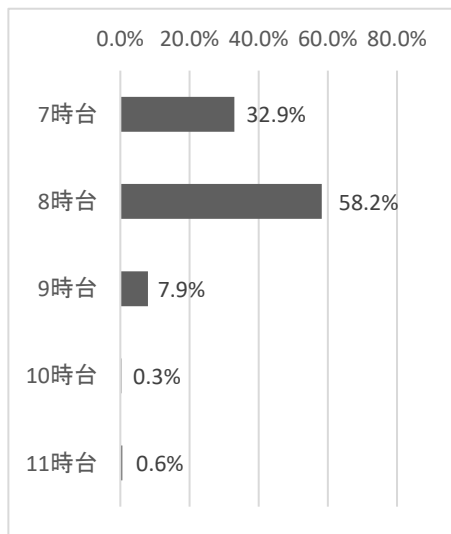
[低学年の利用終了時刻]



n = 367

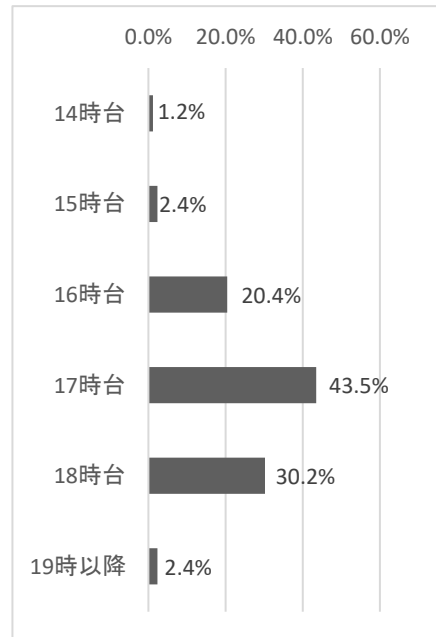


[中学年の利用開始時刻]

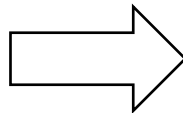


n = 340

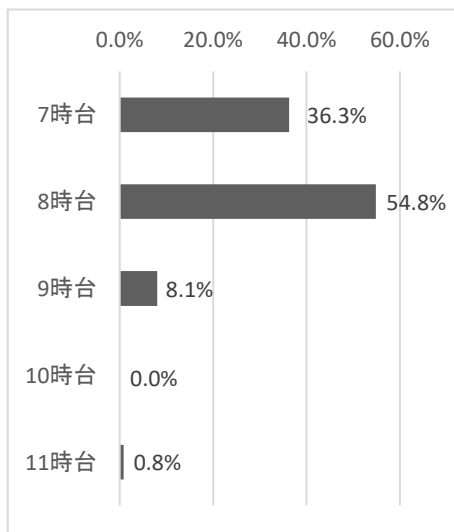
[中学年の利用終了時刻]



n = 338

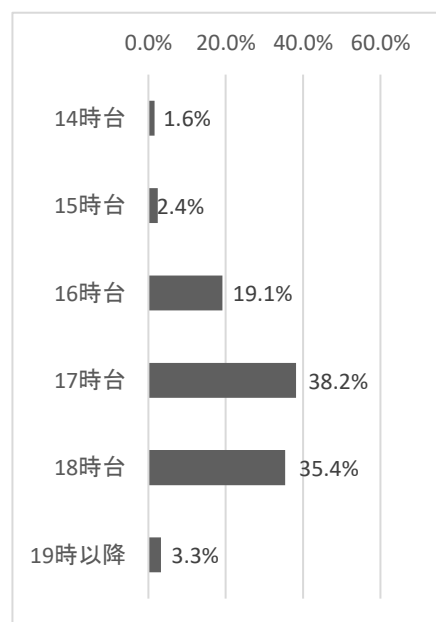


[高学年の利用開始時刻]

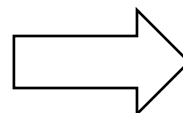


n = 248

[高学年の利用終了時刻]



n = 246

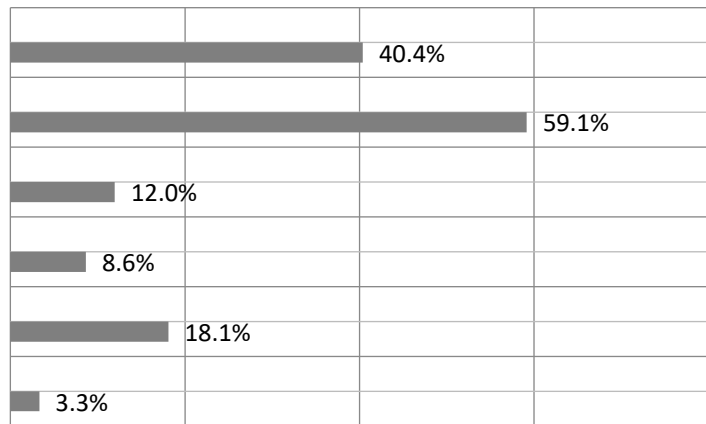


【問29】 市では、お子さんの健やかな成長をお手伝いするため、1歳児の家庭訪問を行っています。この家庭訪問について、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

- ・「子どもの成長や発達を確認できた」が59.1%、「不安が軽減した」が40.4%であり、一定の評価を得ていると考えられるが、「特に得るものは無かった」が8.6%であり、否定的な回答もある。

回答内容	回答数	回答率
不安が軽減した	243	40.4%
子どもの成長や発達を確認できた	356	59.1%
子育ての見通しが持てた	72	12.0%
特に得るものは無かった	52	8.6%
家庭訪問を受けていない	109	18.1%
その他	20	3.3%



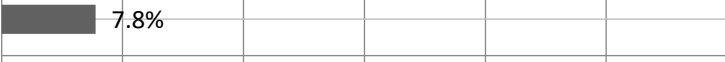
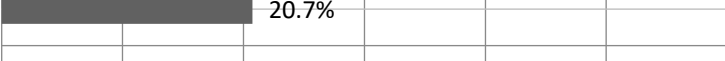

n= 602





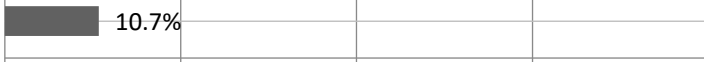


## 第7章 職場の子育て支援、子育て環境などへの満足度について

【問30】 就業している方に伺います。あなたの職場の育児休業や短時間勤務などの子育てに関する支援制度について、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

- ・「育児休業の制度がある」が、父親が48.6%、母親が67.6%である。
- ・「短時間勤務の制度がある」が、父親が20.6%、母親が47.9%である。
- ・それぞれ、前回調査より割合が大きくなっており、企業における制度の普及が進んでいると考えられる。

父親	回答数	回答率	
育児休業の制度がある	288	48.6%	 48.6%
短時間勤務の制度がある	122	20.6%	 20.6%
その他の制度がある	46	7.8%	 7.8%
子育てに関する支援制度はない	123	20.7%	 20.7%
わからない	178	30.0%	 30.0%

n = 593

母親	回答数	回答率	
育児休業の制度がある	398	67.6%	 67.6%
短時間勤務の制度がある	282	47.9%	 47.9%
その他の制度がある	63	10.7%	 10.7%
子育てに関する支援制度はない	94	16.0%	 16.0%
わからない	78	13.2%	 13.2%

n = 589

[その他の制度]

- ・子どもの病気の際の看護休暇
- ・出産に向けての休暇がある
- ・育英手当
- ・介護休暇（病児看護休暇含む）

【問31】 問30で「育児休業の制度がある」にチェックをつけた方に伺います。育児休業の取得経験について、あてはまるものを選択してください。

- ・「取得した」と「取得中」を合わせると、父親が16.0%、母親が66.5%である。
- ・前回調査から、それぞれ10ポイント以上増加しており、子育てに関する社会全体の意識が変化していると考えられる。
- ・一方、「出産を機に退職した」母親が64人（12.9%）おり、前回調査の47人（8.0%）より増加しているが、育児と就労の課題の一つと考えられる。

父親	回答数	回答率				
取得した	61	14.8%	■ 14.8%			
取得しなかった	341	82.8%	■ 82.8%			
取得中	5	1.2%	■ 1.2%			
出産を機会に退職	1	0.2%	■ 0.2%			
働いていなかった	4	1.0%	■ 1.0%			

n= 412

母親	回答数	回答率				
取得した	304	61.3%	■ 61.3%			
取得しなかった	19	3.8%	■ 3.8%			
取得中	26	5.2%	■ 5.2%			
出産を機会に退職	64	12.9%	■ 12.9%			
働いていなかった	83	16.7%	■ 16.7%			

n= 496

【問32】 就業している方に伺います。今後の育児休業の取得の希望について、あてはまるものを選択してください。

- ・「機会があれば取得したい」は、父親が43.6%、母親が、60.8%である。
- ・「制度があれば取得したい」は、父親が14.7%、母親が16.4%である。
- ・「機会があれば取得したい」は、前回調査より、父は17.8ポイント、母は8.5ポイント増加した。
- ・一方、「取得するつもりはない」は、父親が41.7%、母親が18.8%であり、前回より減少はしているが、一定数がこのような意見を持っている。

父親	回答数	回答率
機会があれば取得したい	237	43.6%
制度があれば取得したい	80	14.7%
取得するつもりはない	227	41.7%

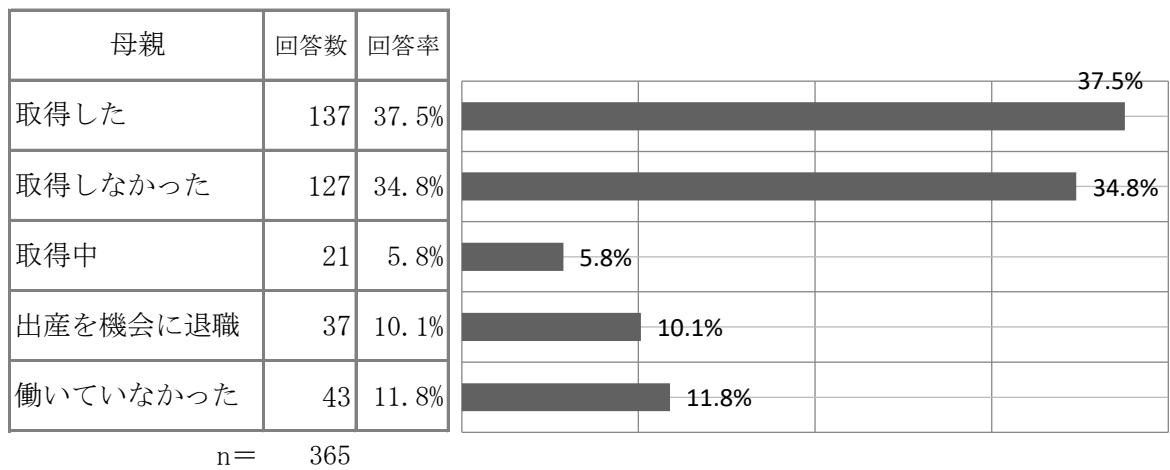
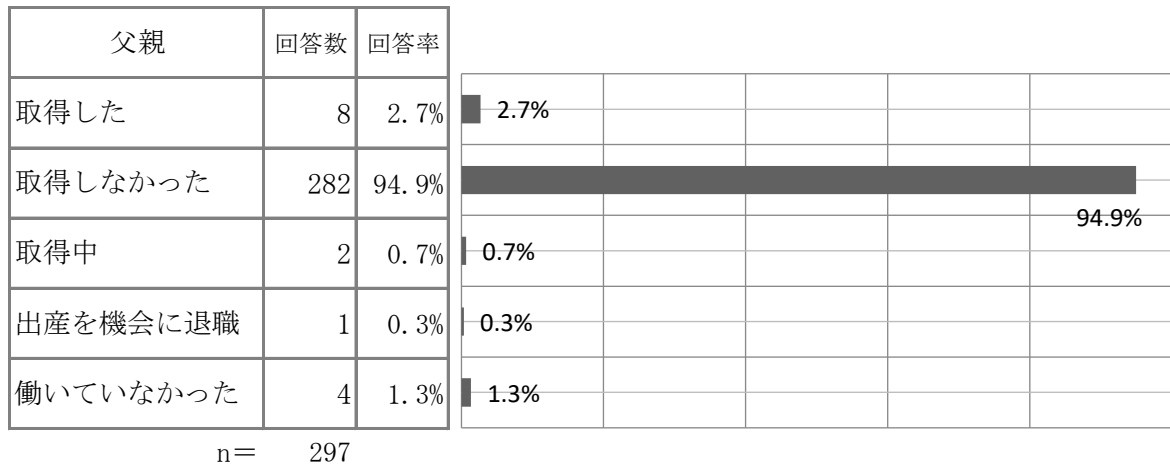
n= 544

母親	回答数	回答率
機会があれば取得したい	337	60.8%
制度があれば取得したい	113	20.4%
取得するつもりはない	104	18.8%

n= 554

【問33】 問30で「短時間勤務の制度がある」にチェックをつけた方に伺います。  
短時間勤務の取得経験について、あてはまるものを選択してください。

- ・「取得した」と「取得中」を合わせると、父親が3.4%、母親が43.3%である。
- ・父親は前回調査とほぼ同様であるが、母親については18.8ポイント増加した。

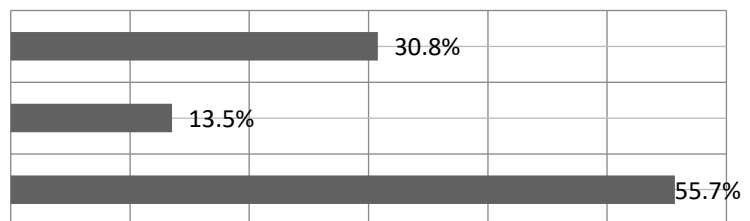


【問34】 就業している方に伺います。今後の短時間勤務の取得希望について、あてはまるものを選択してください。

- ・「機会があれば取得したい」は、父親が30.8%、母親が、53.2%である。
- ・「制度があれば取得したい」は、父親が13.5%、母親が20.5%である。
- ・「機会があれば取得したい」は、前回調査より、父は7.3ポイント、母は11.1ポイント増加した。
- ・一方、「取得するつもりはない」は、父親が55.7%、母親が26.3%であり、前回より減少はしているが、一定数がこのような意見を持っている。

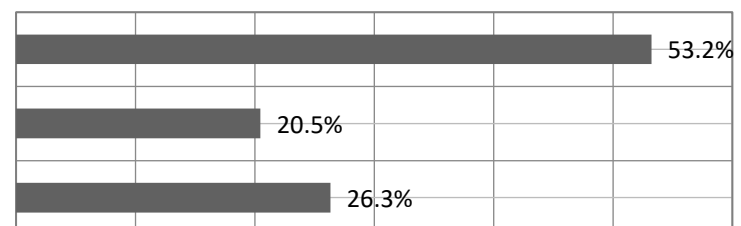
父親	回答数	回答率
機会があれば取得したい	157	30.8%
制度があれば取得したい	69	13.5%
取得するつもりはない	284	55.7%

n= 510



母親	回答数	回答率
機会があれば取得したい	281	53.2%
制度があれば取得したい	108	20.5%
取得するつもりはない	139	26.3%

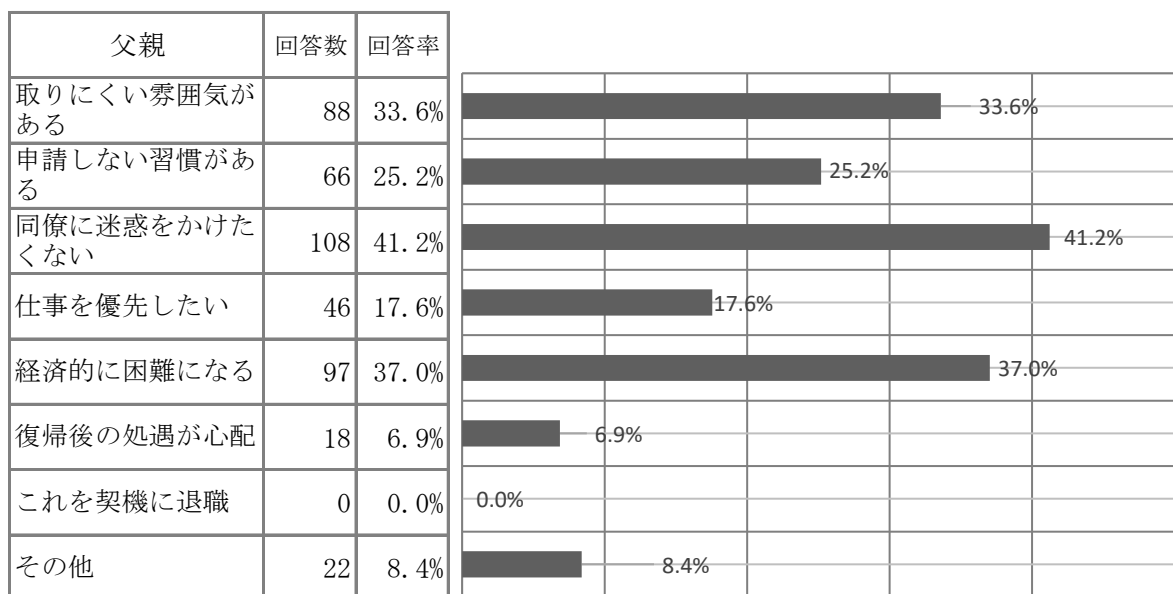
n= 528



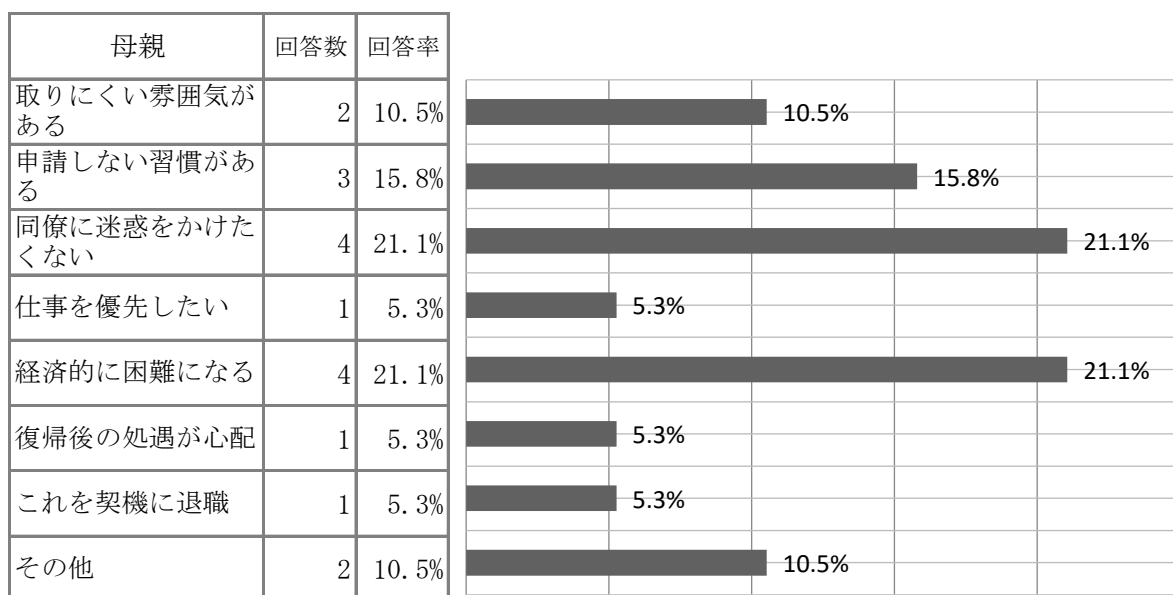
【問35】 問31～問34で、育児休業や短時間勤務を「取得しなかった」「取得するつもりはない」と選択した方に伺います。その理由について、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

①「育児休業制度があるにもかかわらず、取得しなかった」理由

- ・父親の理由として、「同僚に迷惑をかけかけたくない」が41.2%、「経済的に困難」が37.0%、「取りにくい雰囲気」が33.6%である。
- ・母親の理由として、「同僚に迷惑をかけかけたくない」と「経済的に困難」が21.1%、「申請しない習慣がある」が15.8%である。
- ・全体として、前回調査と同様に職場での気まずさや経済的困難が主な理由である。



n= 262



n= 19



②「短時間勤務制度があるにもかかわらず、取得しなかった」理由

- ・父親の理由として、「同僚に迷惑をかけかけたくない」が42.4%、「経済的に困難」が34.6%、「取りにくい雰囲気」が33.2%である。
- ・母親の理由として、「同僚に迷惑をかけかけたくない」が42.9%、「経済的に困難」が33.8%、「取りにくい雰囲気」が31.2%である。
- ・全体として、前回調査と同様に職場での気まずさや経済的困難が主な理由である。

父親	回答数	回答率	
取りにくい雰囲気がある	72	33.2%	33.2%
申請しない習慣がある	58	26.7%	26.7%
同僚に迷惑をかけかけた くない	92	42.4%	42.4%
仕事を優先したい	40	18.4%	18.4%
経済的に困難になる	75	34.6%	34.6%
復帰後の処遇が心配	16	7.4%	7.4%
これを契機に退職	1	0.5%	0.5%
その他	21	9.7%	9.7%

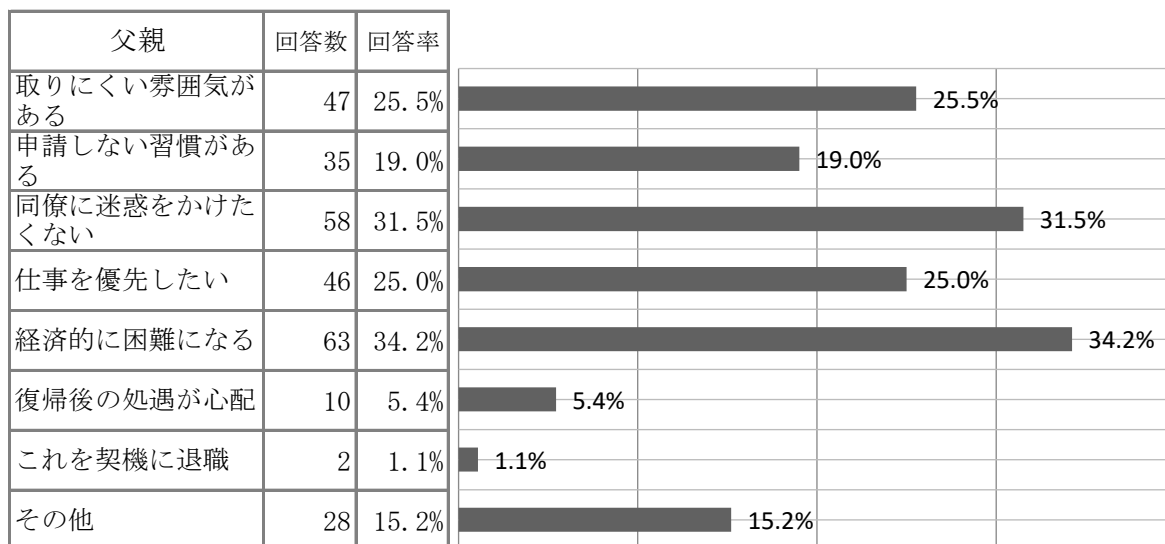
n= 217

母親	回答数	回答率	
取りにくい雰囲気がある	24	31.2%	31.2%
申請しない習慣がある	16	20.8%	20.8%
同僚に迷惑をかけかけた くない	33	42.9%	42.9%
仕事を優先したい	10	13.0%	13.0%
経済的に困難になる	26	33.8%	33.8%
復帰後の処遇が心配	9	11.7%	11.7%
これを契機に退職	1	1.3%	1.3%
その他	8	10.4%	10.4%

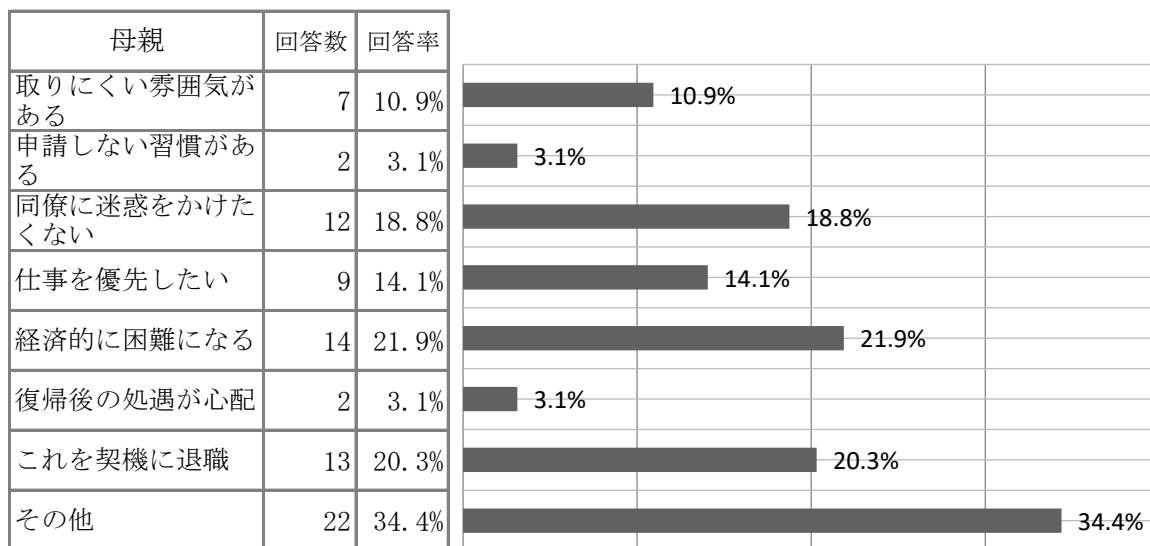
n= 77

③「今後、育児休業制度を取得するつもりがない」理由

- ・父親の理由として、「経済的に困難」が34.2%、「同僚に迷惑をかけかけたくない」が31.5%、「取りにくい雰囲気」が25.5%である。
- ・母親の理由として、「経済的に困難」が21.9%、「同僚に迷惑をかけかけたくない」が18.8%、「取りにくい雰囲気」が10.9%である。
- ・全体として、前回調査と同様に職場での気まずさや経済的困難が主な理由である。



n= 184

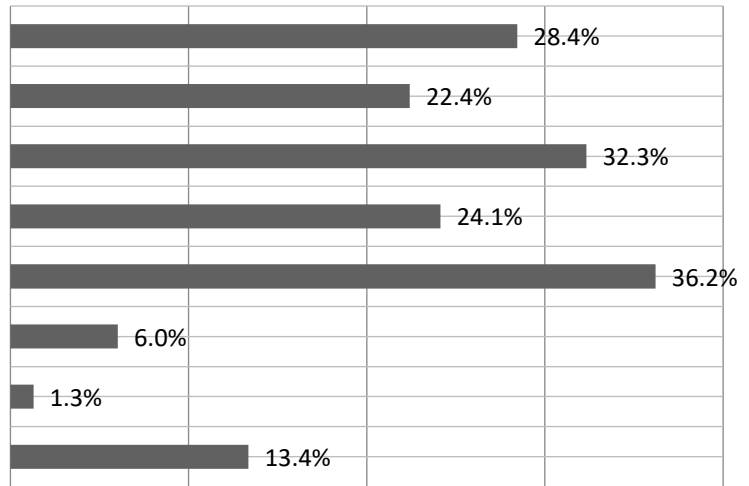


n= 64

④「今後、短時間勤務制度を取得するつもりがない」理由

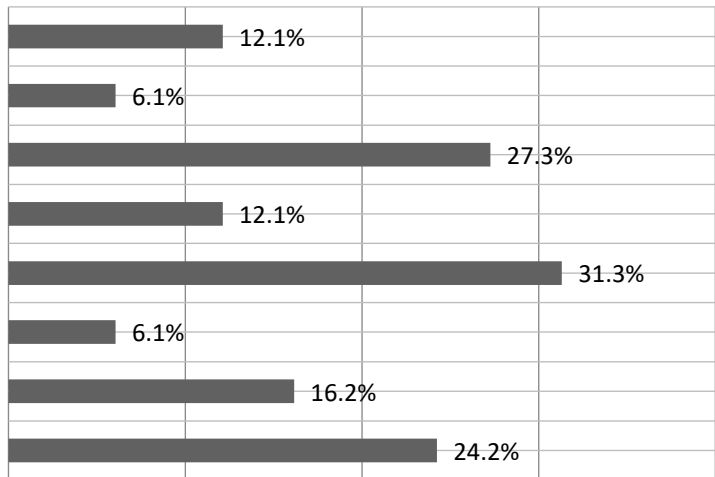
- ・父親の理由として、「経済的に困難」が36.2%、「同僚に迷惑をかけかけたくない」が32.3%、「取りにくい雰囲気」が28.4%である。
- ・母親の理由として、「経済的に困難」が31.3%、「同僚に迷惑をかけかけたくない」が27.3%、「取りにくい雰囲気」と「仕事を優先したい」が12.1%である。
- ・全体として、前回調査と同様に職場での気まずさや経済的困難が主な理由である。

父親	回答数	回答率
取りにくい雰囲気がある	66	28.4%
申請しない習慣がある	52	22.4%
同僚に迷惑をかけかけたくない	75	32.3%
仕事を優先したい	56	24.1%
経済的に困難になる	84	36.2%
復帰後の処遇が心配	14	6.0%
これを契機に退職	3	1.3%
その他	31	13.4%



n= 232

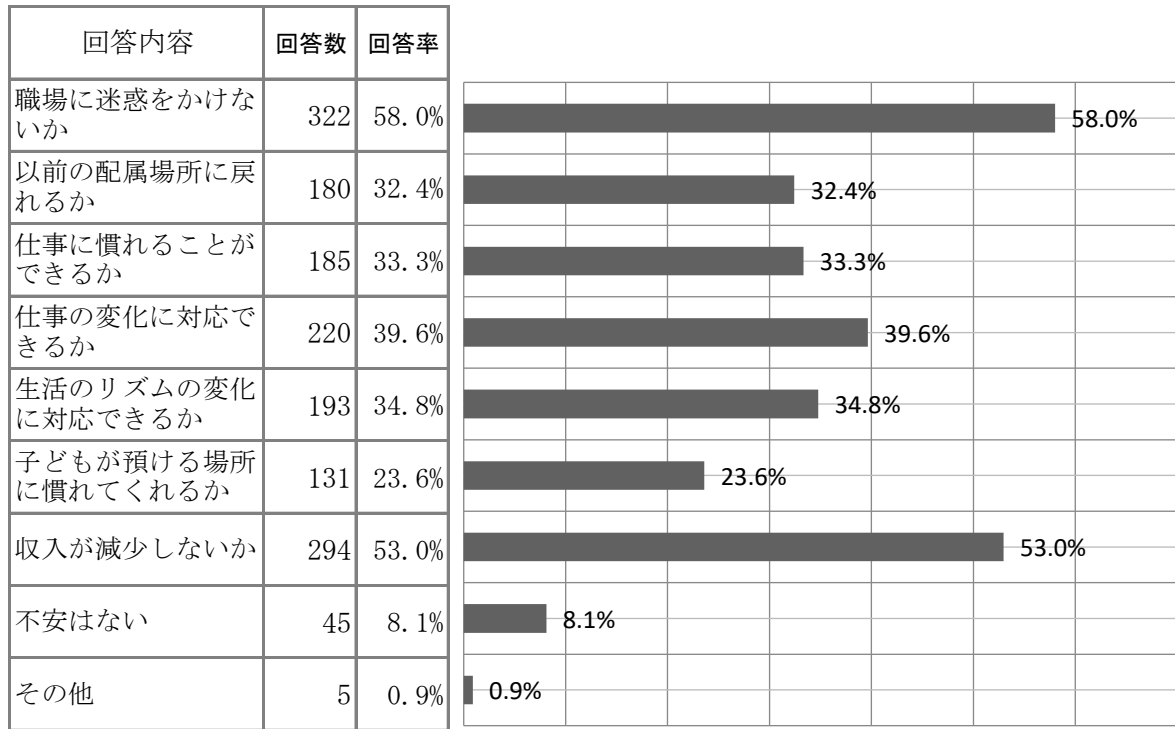
母親	回答数	回答率
取りにくい雰囲気がある	12	12.1%
申請しない習慣がある	6	6.1%
同僚に迷惑をかけかけたくない	27	27.3%
仕事を優先したい	12	12.1%
経済的に困難になる	31	31.3%
復帰後の処遇が心配	6	6.1%
これを契機に退職	16	16.2%
その他	24	24.2%



n= 99

【問36】 育児休業や短時間勤務を取得する場合の不安について、あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

- ・「職場に迷惑をかけないか」が58.0%と最も高い。次いで、「収入が減少しないか」が53.0%である。
- ・そのほか、「仕事の変化に対応できるか」などの復帰後の心配が見られる。

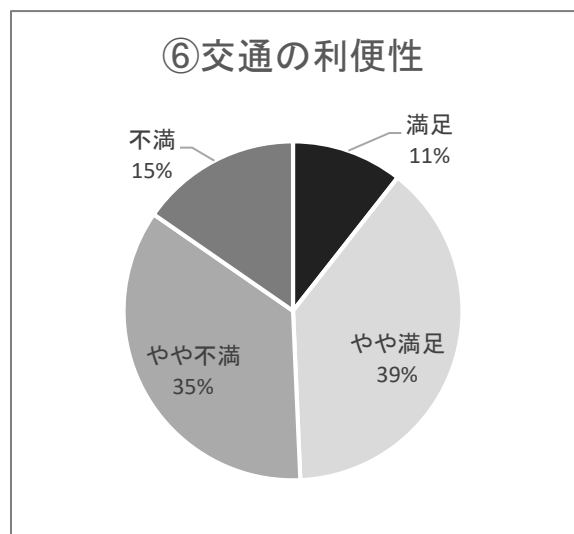
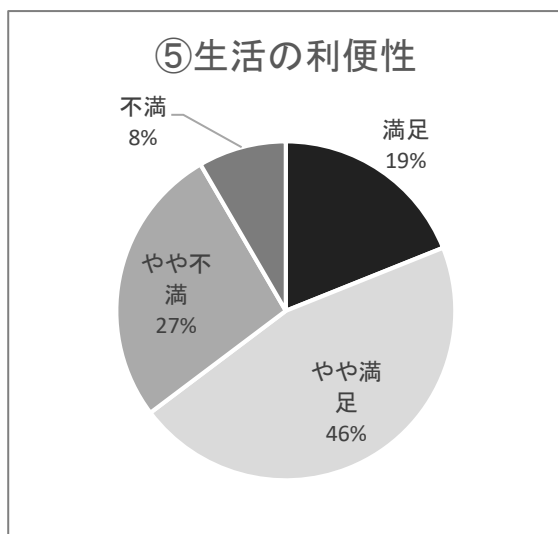
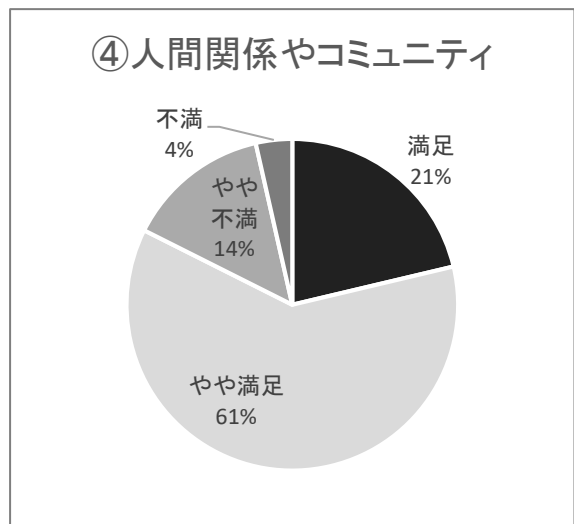
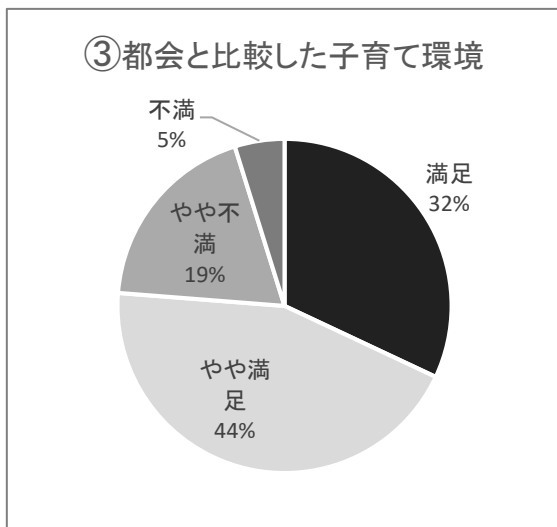
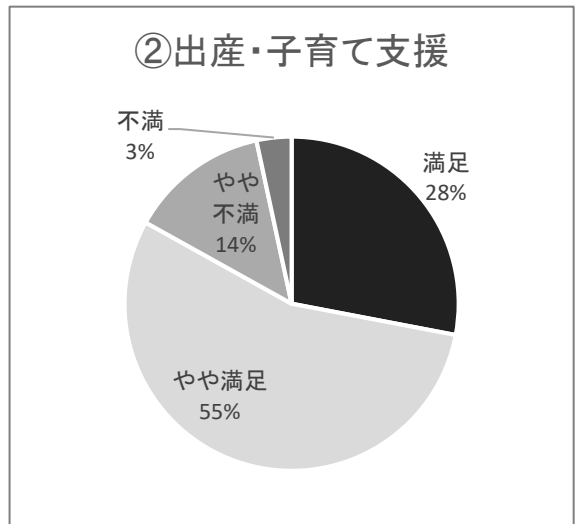
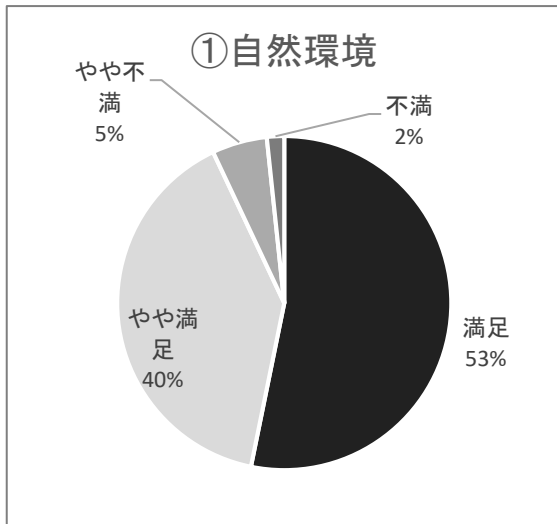


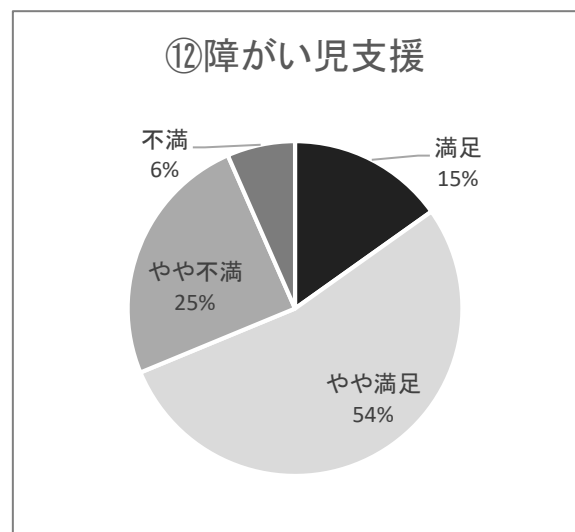
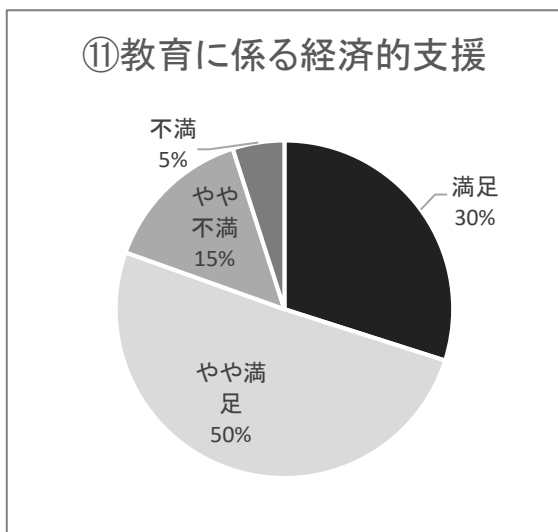
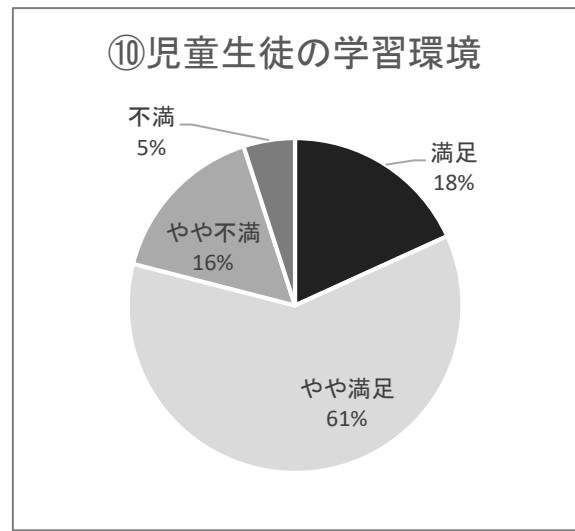
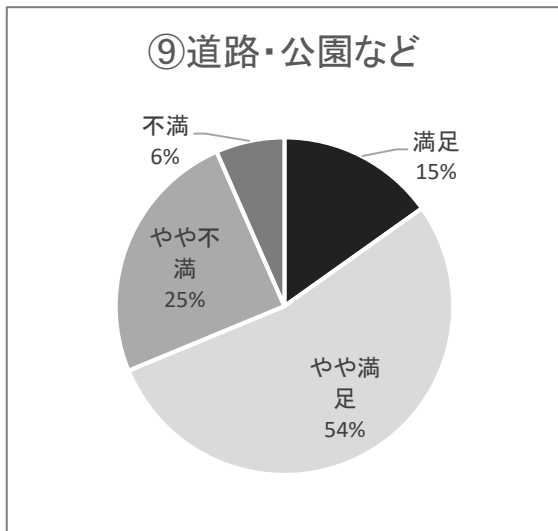
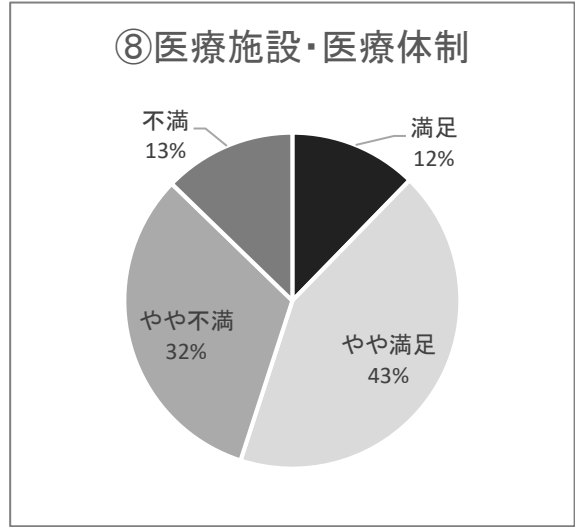
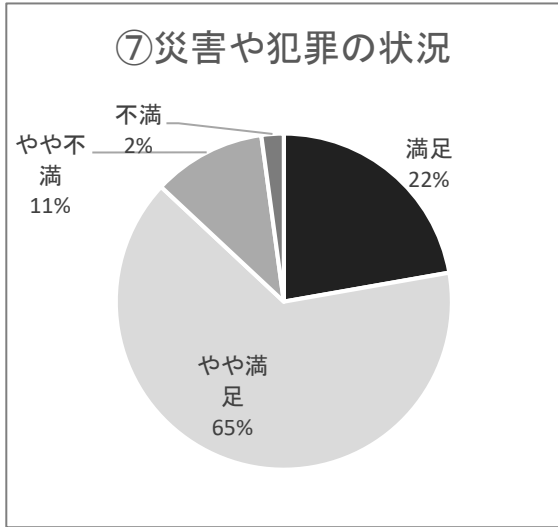
n= 555

【問37】 妙高市における子育ての環境や支援の満足度について、あてはまるものを選択してください。

- ・「自然環境」「出産・子育て支援」「人間関係や地域のコミュニティ」「災害や犯罪の状況」「教育に係る経済的支援」「障がい児支援」について、満足・やや満足の両方を加えた満足度が80%を超えている。
- ・「交通の利便性」「医療施設・医療体制」の満足度は、前回同様に50%程度であり、従来からの課題となっている。

回答内容	満足	やや満足	やや不満	不満	
①自然環境（水や空気、雪、自然など）	349	261	35	11	n = 656
	53.2%	39.8%	5.3%	1.7%	
②出産・子育て支援	182	358	88	22	n = 650
	28.0%	55.1%	13.5%	3.4%	
③都会と比較した子育て環境	206	285	122	31	n = 644
	32.0%	44.3%	18.9%	4.8%	
④人間関係や地域のコミュニティ	138	396	91	23	n = 648
	21.3%	61.1%	14.0%	3.5%	
⑤日頃の買い物など生活の利便性	124	300	176	55	n = 655
	18.9%	45.8%	26.9%	8.4%	
⑥交通の利便性	69	252	230	100	n = 651
	10.6%	38.7%	35.3%	15.4%	
⑦災害や犯罪の状況	145	422	71	14	n = 652
	22.2%	64.7%	10.9%	2.1%	
⑧医療施設・医療体制	80	278	210	83	n = 651
	12.3%	42.7%	32.3%	12.7%	
⑨道路・公園など生活基盤	99	350	161	43	n = 653
	15.2%	53.6%	24.7%	6.6%	
⑩児童生徒の学習環境	117	391	103	32	n = 643
	18.2%	60.8%	16.0%	5.0%	
⑪教育に係る経済的支援（就学援助、給食費無償化など）	193	326	94	32	n = 645
	29.9%	50.5%	14.6%	5.0%	
⑫障がい児支援	99	387	87	21	n = 594
	16.7%	65.2%	14.6%	3.5%	





【問38】 問37（子育ての環境や支援）の各項目について、ご意見などありましたらご記入ください。

[意見等の内容]

項目	件数	主な意見
①自然環境	2	・自然豊かな中で子育てできる事は幸せに感じている。
②出産・子育て支援		
児童クラブ	8	・放課後児童クラブの料金が高い。 ・児童クラブの先生の待遇面も改善してほしい。 ・長期休暇時のお弁当の注文をお願いしたい。
一時預かり	4	・土日に未就学児や低学年の子どもを預ける施設がほしい。 ・上越市のファミリーヘルプのような施設があったら良い。
ファミサポ	1	・家族に合った「まかせて会員」を紹介してほしい。
子育て広場	1	・たくさんあり行きやすかった。相談もたくさん聞いてもらえママ友もできた。
病児・病後児保育	2	・けいなん病院の受診を含め、申込手続きが面倒である。
支援のあり方	26	・子どもに対する市からの補助がもっとあれば嬉しい。(金銭面) ・多子世帯にも手厚い制度があった方がありがたい。 ・片親支援をもう少し手厚くしてほしい。 ・中学、高校に上がった時にお金の負担を軽減させる対策をしてもらいたい。 ・子育ての支援面は文句なし。妙高市で子育てして良かった。
③子育て環境	7	・芸術や音楽に触れられる機会、常設施設が少ないと思う。 ・習い事や活動など、全て親の送迎がないと行けないのは大変である。
④人間関係など	1	・子ども会の行事はいらぬ。強制入会させられているのもおかしい。
⑤生活の利便性	4	・子供用品(乳児用品、季節用品)のお店がもっと(近くに)欲しい。 ・公共施設にATMが無い。遊びと食事、銀行や郵便局など一体であると良い。
⑥交通の利便性	2	・電車バスの接続が悪い。本数が少ない。
⑦災害や犯罪	0	
⑧医療施設など	19	・夜間、祝日に適切に小児の受け入れてもらえる医療体制をお願いしたい。 ・小児科専門の医院を増やしてほしい。 ・皮膚科、耳鼻科、眼科、産科(分娩)を充実してもらいたい。 ・障がい児対応の病院を増やしてほしい。
⑨道路・公園など	23	・子供が遊べる場所、公園などの数や遊具を充実してほしい。 ・学校、園の周辺の除雪はなるべく早く、綺麗に除雪してほしい。 ・天候に左右されない遊び場(屋内施設)がほしい。 ・道の狭さ、歩道の整備がないなど、通学路の危険個所の改善してほしい。
⑩学習環境	7	・イベントの縮小により、学力だけに重きをおいていないか心配である。 ・学習支援が底上げが中心で、更に上を目指そうとする意識が低い。 ・タブレットの使い方が上手くできず、それがストレスになっている。 ・学校によって設備環境の違いが大きい。和式トイレだけでも改善してほしい。 ・小学校にも給水器等の導入をお願いしたい。



項目	件数	主な意見
⑪経済的支援	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食費無償化により、給食(食材)の質が落ちないかと心配である。</li> <li>小学校の終業式や始業式でも、給食を提供してもらいたい。</li> <li>絵の具や習字道具など、寄付品を学校で使い回すようにできたら良い。</li> <li>高校生の通学費に対する支援をお願いしたい。</li> </ul>
⑫障がい児支援	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達に障害等のある児童だけでなく、周りの子どもに対しても適切な対応を。</li> </ul>
⑬その他		
保育園・こども園	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>未満児の保育料を自治体独自で支援(無償化)してほしい。</li> <li>第3子保育料無料の制度の要件を緩和してほしい。</li> <li>親子そろってできるイベント(遠足や調理実習など)やってもらいたい。</li> <li>コドモンのおたよりが分かりづらい。紙に戻してもらいたい。</li> </ul>
職場環境	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供と過ごす時間がとれるような制度を企業側に働きかけてもらいたい。</li> </ul>
相談体制	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>数年間隔でなく、相談者のこまめなフォローをお願いしたい。</li> </ul>
乳幼児健診	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間を午前中にし、スピーディーに効率良く、短時間で進めてほしい。</li> </ul>
予防接種	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供のインフルの予防接種も補助をお願いしたい。</li> </ul>
ほか	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>妙高市で生まれ育ったが、この土地の長所が全く見つからない。</li> <li>男性トイレに、おむつ替えのベット等の整備をお願いしたい。</li> <li>特性を持つ子供について、周りに理解してもらえるようになってもらいたい。</li> <li>園や学校は町ごとの区分けではなく、希望する場所へ入園(学)させたい。</li> <li>下校時の地域の見守り体制を増やしてほしい。</li> <li>中学部活動が任意ということに、親としては不安を感じる。</li> <li>子連れでなくてもジュニアパスが使えるよう見直ししてほしい。</li> <li>ワクワクらんどの未就学児の部屋、さらに園児と未満児と分けてほしい。</li> </ul>

計 162